区連会資料□□	西区の事件・事故概況 ～　安全・安心なまちづくりの推進　～	戸部警察署 生活安全課

１　事件の発生状況等(令和８年９月末)

刑法犯認知件数
※暫定値
令和８年中　1116件
令和７年中　1183件
前年同期比　−67件

刑法犯検挙件数
令和８年中 560件
令和７年中 515件
前年同期比 +45件

○増加した主な犯罪

	認知件数	前年同期比
傷害	63	25
車上ねらい	32	18
置引き	46	12

○減少した主な犯罪

	認知件数	前年同期比
自転車盗	74	−34
万引き	287	−24
性的姿態撮影等処罰法	66	−22

２　特殊詐欺発生状況（令和８年９月末）

発生状況
※暫定値
令和８年　38件
令和７年　59件
前年同期比−21件

被害金額
令和８年 約3億7,000万円
令和７年 約3億4,000万円
（約3,000万円増加）

３　交通事故発生状況（令和８年９月末）

	件数	死者	負傷者
令和８年	185	0	219
令和７年	190	1	219
増減	−5	−1	0

※交通事故発生件数は昨年比−5となっています。西区管内は高齢者が関係する事故、二輪車が関係する事故が多発しています。運転に不安を感じたら＃8080（安全運転相談窓口）に相談しましょう。

４　生活道路の法定速度の引き下げについて

９月１日から、生活道路における自動車の法定速度が時速30キロに引き下げられます。生活道路とは、主に地域住民の日常生活に利用される、中央線や中央分離帯などがない比較的狭い道路のことです。

秋になると日が暮れる時間が少しずつ早くなり、夕暮れ時は周囲が見えにくくなります。夕方は、歩行者や自転車などを見落としやすくなるため、運転する際は十分に注意が必要です。暗くなる前から早めにライトを点灯し、周囲の状況をよく確認しながら、ゆとりを持った運転を心がけましょう。

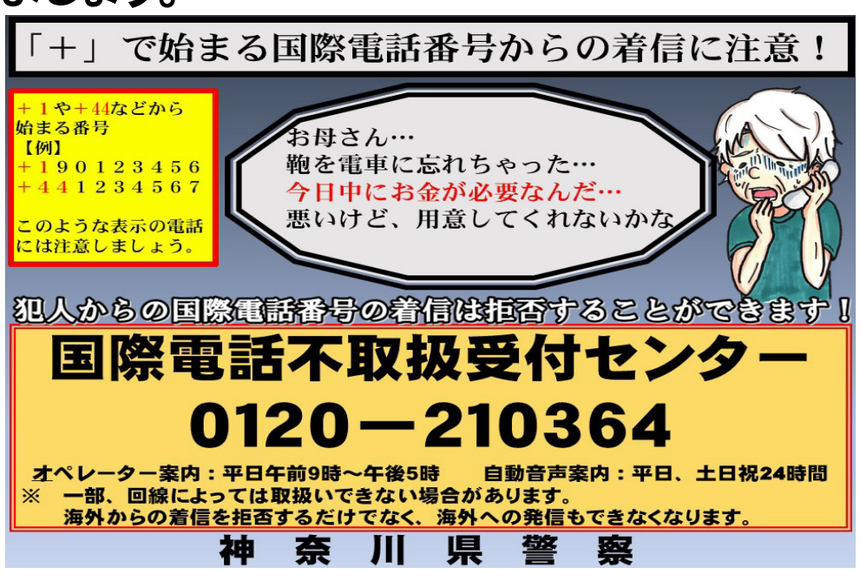


５　今月のトピックス

最近、「＋」で始まる国際電話番号を使用した特殊詐欺や、SNS等で警察を騙り、送金を要求するニセ警察詐欺が多く発生しており、こうした詐欺電話は、自宅の固定電話だけでなく、携帯電話にもかかってきています。

今すぐ対策をし、被害に遭わないようにしましょう。





犯人からのだましの電話は携帯電話にもかかってきます！　　自宅の固定電話はこちら！

今すぐ、二次元コードを読み込んで対策を！

警察庁・ＳＯＳ４７
特殊詐欺対策ページ
ダウンロードはこちら　▶　▶

戸部警察署生活安全課

西　区　町　別　犯　罪　発　生　状　況

（令和８年9月末現在）　※

地区名	町名	凶悪犯	粗暴犯				窃盗犯												知能犯		その他刑法犯等	総計	前年同期	増減	増減比	特殊詐欺※投ロマ除く
			暴行	傷害	恐喝その他	小計	侵入盗				非侵入盗								合計	詐欺	その他知能犯					
							空き巣	事務所荒し	その他	小計	自動車盗	オートバイ盗	自転車盗	車上ねらい	ひったくり	置引き	万引き	その他	小計							
第１地区	御所山町					0				0		1							1	1			1	2	-1	50.0%	
	桜木町			1		1				0			1					1	2	2	1			4	6	-2	66.7%	
	戸部町					0			1	1				1			1	1	3	4			1	5	11	-6	45.5%	
	戸部本町	2	2	5		7				0		1		6		1		3	11	11	10	2	15	47	40	7	117.5%	
	花咲町		2	1		3				0		1	2					1	4	4	1		1	9	2	7	450.0%	1
	宮崎町			1		1				0									0	0				1	1	0	100.0%	
	紅葉ヶ丘					0				0			1						1	1	1			2	3	-1	66.7%	
	計	2	4	8	0	12	0	0	1	1	0	3	4	7	0	1	1	6	22	23	13	2	17	69	65	4	106.2%	
第２地区	中央	1	1	4		5			2	2	1	1	3	5			5	6	21	23	3			32	40	-8	80.0%	2
	西戸部町					0				0								1	1	1			1	2	11	-9	18.2%	
	西前町			1		1	1			1							3		3	4	1			6	2	4	300.0%	
	計	1	1	5	0	6	1	0	2	3	1	1	3	5	0	0	8	7	25	28	4	0	1	40	53	-13	75.5%	
第３地区	久保町					0				0		1	1	1			1	3	7	7	4			11	14	-3	78.6%	2
	浜松町					0				0				2			1	4	7	7	1		1	9	12	-3	75.0%	
	東久保町	1	1			1				0		2							2	2	1			5	13	-8	38.5%	
	藤棚町		3	1		4				0		1	3	2				1	7	7	1		1	13	17	-4	76.5%	1
	元久保町					0				0						1			1	1	1		2	4	3	1	133.3%	1
	計	1	4	1	0	5	0	0	0	0	0	4	4	5	0	1	2	8	24	24	8	0	4	42	59	-17	71.2%	
第４地区	赤門町					0				0			1					1	2	2				2	0	2	--	
	東ヶ丘					0				0				1					1	1				1	0	1	--	
	伊勢町					0				0	1			1				1	3	3	1		2	6	5	1	120.0%	
	老松町					0				0				1		5		2	8	8	1		2	11	2	9	550.0%	2
	霞ヶ丘			1		1				0				1				2	3	3			1	5	8	-3	62.5%	
	境之谷					0	1			1				1				1	2	3	1			4	9	-5	44.4%	1
	西戸部町			1		1		1		1				4					4	5	1		1	8	11	-3	72.7%	
	計	0	0	2	0	2	1	1	0	2	1	0	1	9	0	5	0	7	23	25	4	0	6	37	35	2	105.7%	
第５地区	岡野		1	1	1	3			1	1			3				6	2	11	12			4	19	33	-14	57.6%	
	北幸	6	5	4		9			1	1		1	5			4	6	18	34	35	4	1	11	66	109	-43	60.6%	2
	高島		30	14	1	45				0			15	1		1	74	31	122	122	9	2	45	223	218	5	102.3%	2
	西平沼町			1		1				0			1					1	2	2	2		3	8	7	1	114.3%	
	平沼	1	2	1		3			1	1	1		2			1	1	4	9	10	4		4	22	20	2	110.0%	3
	南幸	13	28	20	3	51			2	2		4	14	3		28	128	50	227	229	18	10	50	371	358	13	103.6%	2
	計	20	66	41	5	112	0	0	5	5	1	5	40	4	0	34	215	106	405	410	37	13	123	715	745	-30	96.0%	
第６地区	北軽井沢					0				0	1		1						2	2				2	4	-2	50.0%	
	楠町					0			1	1			3	1				1	5	6	6		1	13	8	5	162.5%	
	浅間台					0				0		1						3	4	4	2		1	7	9	-2	77.8%	1
	浅間町			1		1			1	1			12					9	21	22	2		2	27	32	-5	84.4%	2
	南軽井沢					0				0			1						1	1				1	1	0	100.0%	
	南浅間町			1		1			1	1			2	1		1		3	7	8	4		1	14	8	6	175.0%	
	宮ヶ谷			1		1				0									0	0	3		1	5	5	0	100.0%	1
	計	0	0	3	0	3	0	0	3	3	1	1	19	2	0	1	0	16	40	43	17	0	6	69	67	2	103.0%	
みなとみらい地区	みなとみらい	2	9	3	4	16				0			3			4	59	23	89	89	28	4	5	144	159	-15	90.6%	2
	西区全体	26	84	63	9	156	2	1	11	14	4	14	74	32	0	46	285	173	628	642	111	19	162	1116	1183	-67	94.3%	25
	前年同期	19	63	38	8	109	4	0	18	22	29	24	108	14	0	34	311	205	721	743	107	22	183	1183				37
	増減	7	21	25	1	47	-2	1	-7	-8	-25	-10	-34	18	0	12	-26	-32	-93	-101	4	-3	-21	-67				-12

令和８年　西区内の火災・救急概況（西消防署）

R8.1.1～ R8.9.30



2026年度全国統一防火標語

「火の確認　いい日を支える　いい習慣」



区分／年別		令和8年	令和7年	増△減
火災件数		22	17	5
火災種別	建物火災	19	12	7
	車両火災		1	△1
	船舶火災		1	△1
	林野火災			
	その他の火災	3	3	
焼損床面積(㎡)		196	100	96
死者		1	1	
負傷者		2	3	△1
主な原因	配線器具	3	2	1
	電気機器	6	5	1
	放火（疑い含む）	2	2	
	電灯・電話等の配線	2		2
	こんろ	3	1	2

区分／年別		令和8年	令和7年	増△減
救急件数		7,763	7,960	△197
主な内容	急病	5,302	5,516	△214
	交通事故	206	213	△7
	一般負傷	1,612	1,612	
	その他	643	619	24

連合町内会別火災発生状況			
連合／年別	令和8年	令和7年	増△減
第一地区	1	1	
第2地区	4	1	3
第3地区		4	△4
第4地区	4		4
第五地区	9	5	4
第六地区		1	△1
みなとみらい地域	4	5	△1

※速報値ですので、確定したものではありません。

【1か月間の火災状況（９月１日～９月30）】

※9月中　合計3件（建物火災：2件、その他の火災：1件）
・高島二丁目　・中央一丁目　・南幸一丁目

※消防瓦版※

秋の火災予防運動

イベントの御案内！



西消防署マスコットキャラクター
にっしーパンダ

①　西区民祭り消防体験ブース

・開催日時：令和8年11月1日（日）
10時から15時まで

・開催場所：戸部公園、西前小学校等
（西区中央1-17、西区中央2-27-7）

・実施内容：防災すごろくゲームアプリ・
住宅防災診断体験・消防団車両の展示等

②　親子で消防体験

・開催日時：令和8年11月6日（金）
10時から14時まで（予定）

・開催場所：日産グローバル本社ギャラリー
（西区高島1-1-1　1F）

・実施内容：防災すごろくゲームアプリ、消防車両展示
子ども防火衣着装体験等

※両イベント共に（小雨決行、荒天中止）となります。
西消防署・西区役所HPで御確認ください。

西消防署　総務・予防課　045－313－0119

消 西 総 第 628 号
令 和 8 年 10 月 19 日

各自治会・町内会長　御中

西消防署長　石黒　靖雄

初期消火器具合同訓練会の開催について（御案内）

日頃から、西区の防火防災に御協力をいただき、深く感謝申し上げます。
さて、近年発生が危惧されている大地震の際には、自らの命は自ら守る「自助」と地域で共に助け合う「共助」が大変重要となります。
そこで、火災が起こった際の初期消火として大変有効である初期消火器具の取り扱いを学んでいただくため区内の自治会・町内会等を対象とした合同の体験会を開催いたします。ぜひ、本体験会に御参加いただき、地域の防火・防災活動に還元していただきたく、御案内申し上げます。また、当日はその他メニューも体験いただけます。
特に、これまでに**横浜市の初期消火器具整備費補助事業を活用して、設置又は更新した自治会町内会の皆様は、定期的な訓練をお願いしているところですので、この機会に積極的に御参加ください。**

１　日時
令和８年 11 月 14 日（土）午前９時 30 分から午前 11 時まで（受付時間９時 15 分から）

２　場所
西消防署裏手駐車スペース及び中庭（西区戸部本町 50－11）

３　御参加いただきたい方
(1) 地域の防災担当者、初期消火器具の設置場所付近にお住いの方など
(2) 初期消火器具を未設置の自治会・町内会の方
※上記以外の方であっても、訓練会に御興味のある方はぜひ御参加ください。

４　実施内容
スタンドパイプ式初期消火器具取扱訓練、消火器取扱い訓練

５　申込方法及び期限
申込用紙（別紙）を**メール**（sy-nishiyobou@city.yokohama.lg.jp）または、**消防署窓口**にて御提出いただくか、**電話**（045-313-0119）などいずれかの方法で**11 月 12 日（木）**までにお申し込みください。

６　その他
(1) 体験会当日に気象警報等の発令が予想される場合は、急遽中止する場合があります。その際は申込書に記載の連絡先に前日までに御連絡いたします。
(2) 当日は放水等を含む体験がございますので、動きやすい服装（運動着、運動靴等）でお越しください。
(3) 駐車場所は台数に限りがございますので、極力お車での御来場は御遠慮いただき、公共交通機関等を利用しお越しください。
(4) 訓練資機材は消防署で用意いたします。水分等は各自でお持ちください。
(5) 当日参加された方には、防災グッズをプレゼントいたします。

【担当】
西消防署総務・予防課予防担当
早川・松延
TEL/FAX:045-313-0119
Mail:sy-nishiyobou@city.yokohama.lg.jp

別紙

初期消火器具合同体験会申込書

１　自治会・町内会等名称

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

２　参加予定人数

＿＿＿＿＿＿人

３　連絡担当者及び連絡方法（**日中に確実に繋がる連絡先を御記載ください**）

連絡担当者氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

TEL：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

Mail：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

※上記の連絡先は、調整事項などの御連絡などの際に利用させていただきます。本訓練会以外の連絡に利用することはございません。

【担当】
西消防署総務・予防課予防担当
早川・松延
TEL/FAX:045-313-0119
Mail:sy-nishiyobou@city.yokohama.lg.jp

区連会 10 月定例会説明資料
令和 8 年 10 月 19 日
みどり環境局
戦略企画課
総務局税務課

横浜みどりアップ計画[2024-2028]2年目の実績報告について【情報提供】

1　報告の趣旨

横浜みどりアップ計画につきましては、2009 年度から、横浜みどり税を財源の一部として活用させていただきながら、緑の保全・創出に向けた様々な事業・取組を推進しています。

2024 年４月からは４期目となる新たな５か年計画[2024-2028]に取り組んでいます。

このたび、２年目の 2025 年度を振り返り、取組の成果をまとめた実績報告書を作成しましたのでご報告いたします。

2　お願いしたいこと

【区連長】ご承知おきください。

【地区連長】地区連合定例会等で情報提供をお願いします。

【単位会長】単位会長あて資料を送付します。定例会等で情報提供をお願いします。

3　配布資料

（１）　横浜みどりアップ計画[2024-2028]概要版冊子
（２）　２年目（2025 年度）の実績概要
（３）　２年目（2025 年度）の区別実績
（４）　「横浜みどり税」の説明チラシ
（５）　横浜みどりアップ計画の制度ガイド

【問合せ】
横浜みどりアップ計画の広報に関すること
みどり環境局戦略企画課　TEL：671-2712　FAX：550-4093

横浜みどり税に関すること
総務局税務課　TEL：671-2253　FAX：641-2775

横浜
みどりアップ計画













横浜みどりアップ計画［2024-2028］（概要版）

横浜みどりアップ計画

暮らしのなかに
ふと気づけば緑があるということ

毎日の生活を豊かに、そして未来を担う子どもたちに、
横浜の豊かな緑をつなげていくため
市民の皆様とともに「横浜みどりアップ計画」を進めていきます。



美しく潤いのある
景観



暑さを和らげる



環境教育・農体験

横浜
みどりアップ計画

「横浜みどりアップ計画」は、
「横浜市水と緑の基本計画」の重点的な取組として
策定された5か年計画です。
緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を
次世代に継承するため、
「横浜みどり税」を財源の一部に
活用し取組を推進しています。



健康づくり・
レクリエーション



多様な生き物の
すみか



防災・減災

暮らしを支え、豊かにする緑

緑は、都市環境を形成する主要な要素です。
暮らしに潤いを与えるだけでなく、防災・減災に資する機能をはじめとした
グリーンインフラとしての多様な機能を有しています。
そして、これらの機能が発揮されることで、地球温暖化対策や
SDGsの達成に寄与し、ネイチャーポジティブ※の実現にもつながっていきます。

防災・減災




雨を蓄えて浸水被害を抑えるほか、
オープンスペースとして避難場所や
火災延焼防止機能などの
防災・減災につながっています。

健康づくり・レクリエーション




散策をはじめ、市民の身近な遊び場、
憩いの場、健康づくりの場
となっています。

環境教育・農体験




自然とふれあう環境が身近にあることで、
暮らしを取り巻く環境に対する興味や
関心を持つきっかけとなっています。

暑さを和らげる




木陰の涼しさや、まとまった緑地が
日中の気温上昇を抑えるなど、
暑さを和らげる効果があります。

美しく潤いのある景観




快適で美しく潤いのある景観や、
自然と歴史に基づく個性と
風格のある景観をつくっています。

多様な生き物のすみか




樹林地や農地などが、健全に保たれ、
まとまりやつながりを持つことで、
多様な生き物のすみかとなっています。

地産地消

街の魅力向上・賑わいの創出

コミュニティ形成

文化

※ネイチャーポジティブ：「生物多様性の損失を食い止め、反転させ、回復軌道に乗せる」ことを意味し、2022年の国連生物多様性条約第15回締約国会議（COP15）で設定された新たな国際目標において、その方向性が明確に示されている。

緑とともにある横浜の暮らし

横浜の中心市街地から少し郊外へ行くと、多様な生き物が暮らす豊かな森や、水田・畑地が広がる美しい農景観が保全され、緑が街を包みこんでいます。街なかに目を向けると、樹々や花が美しく彩られ、潤いと賑わい、街並みに風格をもたらしています。横浜には、市民・企業の皆様とともにまもり、つくり、育んできたかけがえのない緑が暮らしの身近な場所にあります。



横浜みどりアップ計画［2024-2028］の方向性

多様なコミュニティの形成や市民活動の支援の拡充

全市域に広がっている緑や花に関する活動への支援を充実させ、さらに展開させることで、活発な市民活動が行われている姿を目指します。

地域で取り組む緑化活動





森を支える森づくりボランティア



市民が緑に関わる取組のさらなる展開

市民が緑にふれ、感じることができるよう、魅力的な空間づくりや体験イベントの開催をはじめ、これまで確保してきた緑のストックの一層の活用を進めます。

緑花による魅力ある空間づくり



農体験



地産地消にふれる機会



身近な緑の着実な確保と維持管理による質の向上

引き続き身近な緑の場を保全・創出して良好な育成を進めることで、都市環境を形成する主要な要素である緑のもつ多様な機能を効果的に発揮させていきます。

まちなかでの緑の創出・育成

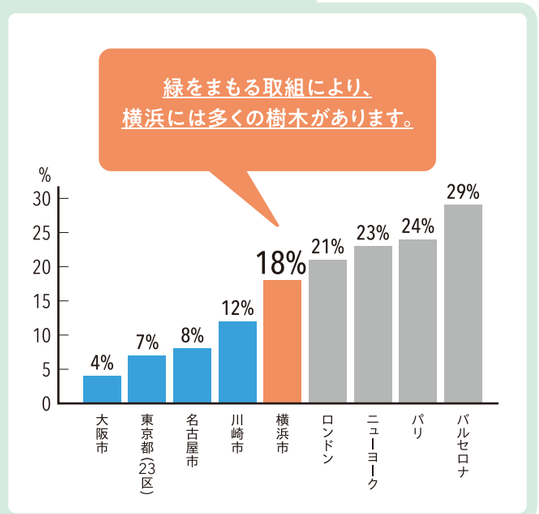


森の保全と 良好な育成



取組の意義や成果、緑がもたらす効果をわかりやすく伝え、取組の共感と、緑のある暮らしの実感につながる広報を展開。

［都市別］
樹木エリアの割合比率



Googleの温室効果ガス排出量推計ツール
(EIE：Environmental Insights Explorer)より
https://insights.sustainability.google/



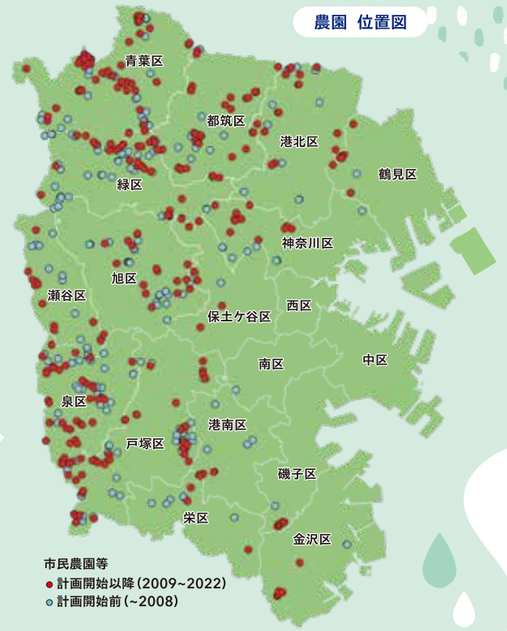
農に親しむ

–横浜の農園で収穫体験–

ココに横浜※みどり税

実は農業も盛んで、農地面積は県内ナンバー1。暮らしに身近な「農」が横浜の魅力です。市内には、野菜や果物の収穫を気軽に体験できる農園から、本格的な農作業ができる農園まで、多くの農園があります。農体験に参加したり、横浜で採れた旬の野菜や果物などを味わったり、横浜ならではの農の魅力を感じてみませんか。

※収穫体験農園開設支援・農園付公園の整備









みどりアップ計画による体験・イベントスポットはこちら!









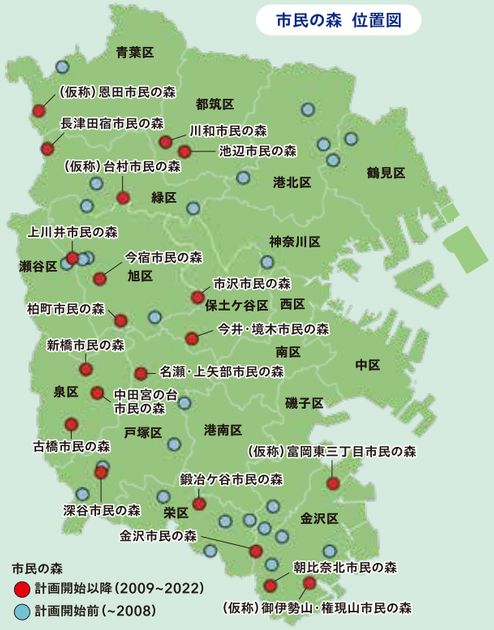
森を愉しむ

–市民の森を散策–

ココに横浜※みどり税

市内には、散策が楽しめる市民の森が43か所あります。また、市内5か所には「ウェルカムセンター」があり、子どもから大人まで幅広い方々が、横浜の森を知って親しみ、楽しむことができるよう、情報の発信やイベントの開催をしています。横浜の森で自然を感じてみませんか。

※市民の森の整備・維持管理











街なかで緑や花を感じる

–季節を感じる街歩き–

ココに横浜※みどり税

街を歩けば、地域で育まれた緑や花を感じることができます。横浜では、多くの市民力により、地域ならではの緑や花の空間が彩られています。地域で取り組む緑化活動は、人と人とのつながりを生むことも。緑や花に季節を感じながら、街歩きを楽しんでみませんか。

※地域緑のまちづくり事業

地域緑のまちづくり 実施地区

（地域主体となった緑化活動）



● 地域緑のまちづくり協定締結地区

（2022年度末時点）

横浜みどりアップ計画［2024-2028］の体系・5か年事業費

計画の理念

みんなで育む
みどり豊かな美しい街
横浜

5か年の目標

1 緑の減少に歯止めをかけ、総量の維持を目指します

2 地域特性に応じた緑の保全・創出・維持管理の充実により緑の質を高めます

3 市民と緑との関わりを増やし、緑とともにある豊かな暮らしを実現します

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む　事業費 303億円（86億円）

施策1 まとまりのある樹林地の保全・活用	事業① 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り	252億円（37億円）
	事業② 良好な森の育成	46億円（46億円）
	事業③ 森に関わる多様な機会の創出	5億円（3億円）

柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる　事業費 34億円（10億円）

施策1 農に親しむ取組の推進	事業① 良好な農景観の保全	11億円（4億円）
	事業② 農とふれあう場づくり	20億円（7億円）
施策2 「横浜農場」の展開による地産地消の推進	事業③ 身近に農を感じる地産地消の推進	2億円（–）
	事業④ 市民や企業と連携した地産地消の展開	0.7億円（–）

柱3 市民が実感できる緑や花をつくる　事業費 77億円（46億円）

施策1 市民が実感できる緑や花の創出・育成	事業① まちなかでの緑の創出・育成	33億円（26億円）
施策2 ガーデンシティ横浜の更なる推進	事業② 緑や花があふれる地域づくり	12億円（6億円）
	事業③ 子どもを育む空間での緑の創出・育成	4億円（0.8億円）
	事業④ 緑や花による魅力・賑わいの創出・育成	27億円（14億円）

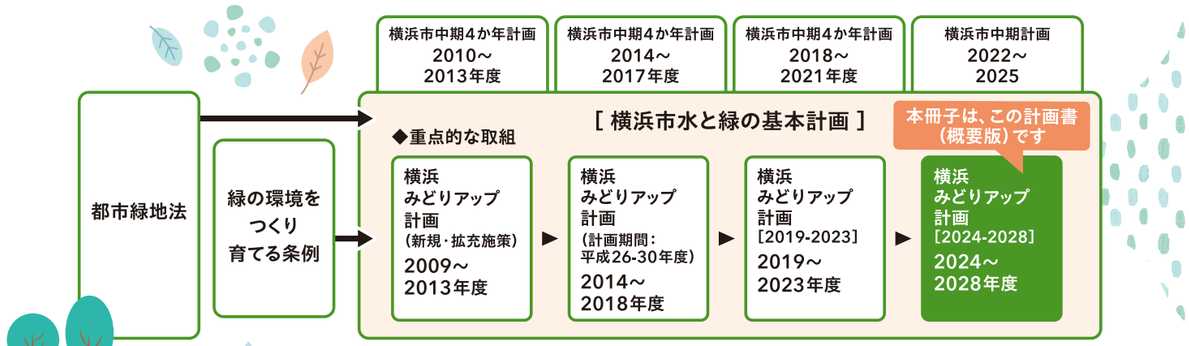
効果的な広報の展開　事業費 0.8億円（–）

事業① 市民の理解を広げる広報の展開	0.8億円（–）

総事業費 415億円（142億円）

※事業費の（　）はうちみどり税を記載しています。端数調整により合計値が整合しない場合があります。

計画の位置付け



横浜みどりアップ計画[2024-2028]を進めるにあたって

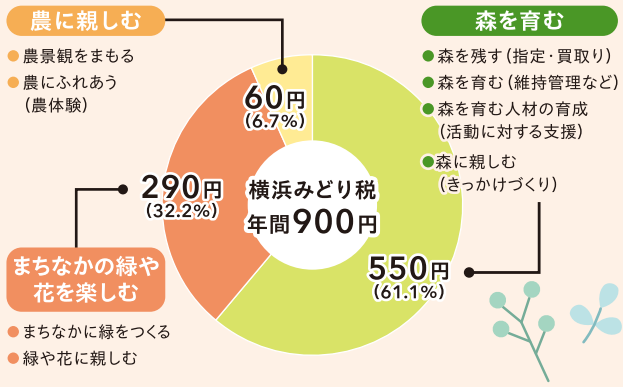
計画を進めるための財源について

横浜市では、緑の保全・創出に取り組むために必要な安定的な財源を確保するため、2009（H21）年度から市民の皆様にご負担いただいている「横浜みどり税」について、引き続き2024（R6）年度から2028（R10）年度までのご負担をお願いし、この計画の重要な財源の一部として活用していきます。

対象	税率
個人	市民税の均等割に年間900円上乗せ※
法人	市民税の年間均等割額の9%相当額

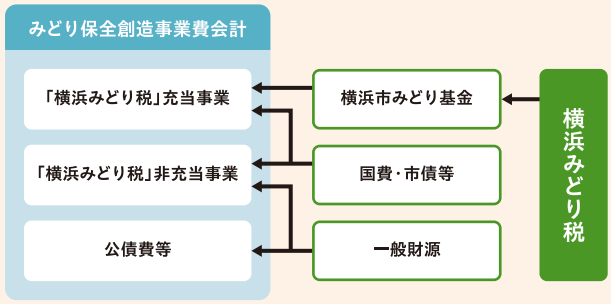
※所得が一定金額以下で市民税均等割が課税されない方を除きます。

横浜みどり税（年間900円）の使いみち



横浜みどり基金と特別会計（みどり保全創造事業費会計）

横浜みどり税は、市民税の超過課税の形でご負担をお願いするものですが、その税収の使途は横浜みどりアップ計画に限定されます。そこで、この税収を管理する基金を設置することにより、他の一般財源から明確に分離するとともに、年度間の財源調整も行います。
また、横浜みどり税の使途を明確にするためには、横浜みどり税を充当して実施する事業のみならず、横浜みどりアップ計画全体について、その内容や進捗状況を他の施策と分離して明らかにしていく必要があります。そこで、横浜みどり税非充当事業（既存事業費等）を含めた横浜みどりアップ計画全体を対象とする特別会計により、横浜みどり税の使途を明確にします。



横浜みどりアップ計画市民推進会議

「横浜みどりアップ計画」の推進に向け、市民参加の組織により、みどりアップ計画の評価及び意見・提案、市民の方への情報提供等を行うことを目的として、公募市民や学識経験者などからなる「横浜みどりアップ計画市民推進会議」が2009（H21）年に設置され、2012（H24）年からは横浜市附属機関設置条例に基づく附属機関に位置付けられています。
市民推進会議では、みどりアップ計画の取組の検証や現地調査を行い、評価・提案を報告書にまとめています。


全体会議


現地調査

市民推進会議についてはこちら

お問合せ先 「横浜みどりアップ計画」について：みどり環境局戦略企画課　TEL：045-671-4214　FAX：045-550-4093　mk-mimiplan@city.yokohama.lg.jp
「横浜みどり税」について：総務局税務課　TEL：045-671-2229　FAX：045-641-2775　so-zeimu@city.yokohama.lg.jp

横浜みどりアップ計画[2024-2028]〈冊子〉は、次の場所で閲覧できます。

●各区役所の広報相談係　●市民情報センター（市庁舎3階）　●みどり環境局ウェブサイト

横浜みどりアップ計画[2024-2028]概要版　令和6年6月発行
編集・発行：みどり環境局戦略企画課

みどりアップ計画[2024-2028]はこちら

2025年度の実績概要と今後の展望

横浜市では、緑の保全・創出を進め、横浜の緑を次世代に引き継ぐため、2009年度から「横浜みどりアップ計画」に取り組んでいます。2024年度からは、第4期となる「横浜みどりアップ計画［2024－2028］」に基づき、市民の皆様とともに、森や農、緑や花を身近に感じられるまちづくりを進めています。

柱 1　市民とともに次世代につなぐ森を育む （2-8～2-23）

市内の樹林地を保全するため、緑地保全制度による40.7haの樹林地の新規指定や、17.8haの買取り対応を進めたほか、市民の森を2か所開園しました。引き続き、樹林地の指定・買取り・整備を着実に進めるとともに、多様な主体との連携により、森づくりの担い手育成と、市民が森に関わる機会の充実を図ります。

柱 2　市民が身近に農を感じる場をつくる （2-24～2-47）

市内の水田112.3haを維持し、良好な農景観を保全するための支援をしました。また、収穫体験農園や横浜ふるさと村、恵みの里での農体験、直売所等の開設、はまふぅどコンシェルジュの活動などを支援し、農とのふれあいや地産地消を推進しました。引き続き、農景観の保全と身近に農とふれあえる場づくりを進め、市民・企業等との連携も深めていきます。

柱 3　市民が実感できる緑や花をつくる （2-48～2-69）

横浜開港資料館など3か所の緑地を再整備したほか、桜並木等の再生、地域の緑化活動への支援、保育園や幼稚園、小中学校など子どもたちが過ごす施設40か所において緑を創出するとともに、都心臨海部や新横浜駅周辺の14か所で緑や花による良好な空間づくりを進めました。今後も、市民・事業者との協働や継続的な維持管理により、身近な緑や花を育んでいきます。

広報　効果的な広報の展開 （2-70～2-72）

広報紙、デジタルサイネージ、交通広告、イベント出展、こども向けリーフレット等を活用し、「横浜みどりアップ計画」と「横浜みどり税」について幅広い世代への情報発信に取り組みました。今後も緑の取組に関する市民アンケート等を事業改善に生かし、分かりやすく伝わる広報を通じて、計画への理解と共感につなげていきます。

今後の展望

引き続き、各柱の取組を着実に進めることで、市民生活を支え、潤いをもたらす貴重なみどりを次世代に継承していくとともに、保全したみどりを安全で良好に育み、市民の皆様がその魅力や大切さを身近に実感できる取組を一層強化していきます。あわせて、横浜グリーンエクスポを通じて生まれる気づきや行動、人や地域のつながりを、開催後の地域活動や次世代の担い手づくりへ展開し、人と自然が共生する持続可能な都市・横浜の実現につなげていきます。

柱1



長津田町長月特別緑地保全地区（緑区）



上菅田町市民の森（保土ケ谷区）

柱2



上飯田町（泉区）



舞岡ふるさと村（戸塚区）

柱3



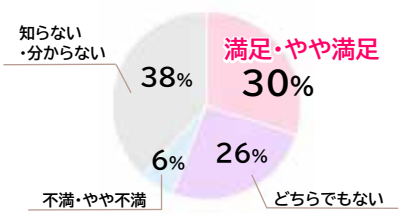
横浜開港資料館（中区）



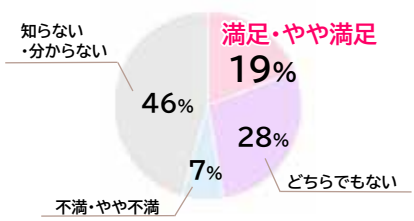
中屋敷保育園（瀬谷区）

市民アンケート※の評価　※2025年度実施　横浜市の緑の取組に関するアンケート調査

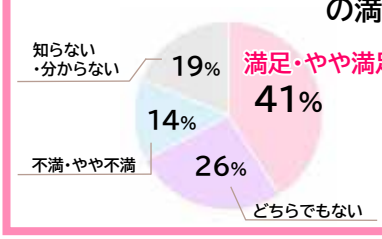
まとまりのある森の保全の満足度



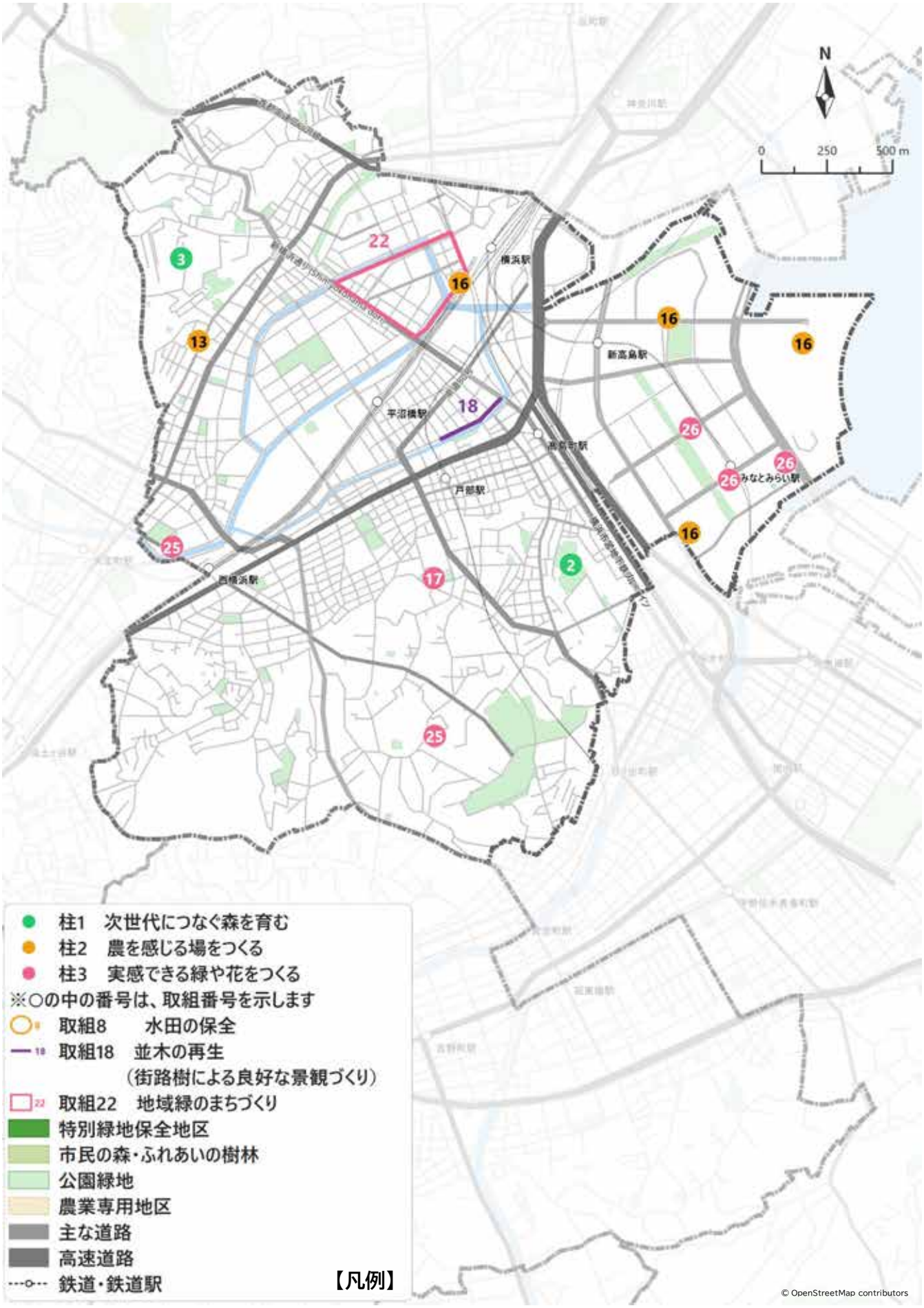
良好な農景観の保全の満足度



街なかなど身近な場所での緑化の満足度



西区における実績


N
0
250
500 m
横浜駅
新高島駅
平沼橋駅
高島町駅
戸部駅
みなとみらい駅
西横浜駅
22
16
3
13
18
26
25
17
2
柱1 次世代につなぐ森を育む
柱2 農を感じる場をつくる
柱3 実感できる緑や花をつくる
※○の中の番号は、取組番号を示します
取組8 水田の保全
取組18 並木の再生
（街路樹による良好な景観づくり）
取組22 地域緑のまちづくり
特別緑地保全地区
市民の森・ふれあいの樹林
公園緑地
農業専用地区
主な道路
高速道路
鉄道・鉄道駅
【凡例】
© OpenStreetMap contributors

柱1　市民とともに次世代につなぐ森を育む

取組6　森に関わるきっかけづくり

区主催のイベントでのクラフト教室の開催
西区民祭り　西前小学校



柱2　市民が身近に農を感じる場をつくる

取組13　市民が農を楽しみ支援する取組の推進

農のコーディネーター派遣
浅間台小学校



柱3　市民が実感できる緑や花をつくる

取組16　市民や企業等との連携

イベントにおける地産地消サポート店
のキッチンカー出展　パシフィコ横浜



取組17　シンボル的な緑の創出・育成

公有地化によるシンボル的な緑の育成
伊勢町もくせい公園



取組22　地域緑のまちづくり

南幸地区



取組23　地域に根差した緑や花の楽しみづくり

緑や花を身近に感じる各区の取組
バラ育成講座



柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

●取組2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

・森の維持管理

公園　1か所

掃部山公園

●取組3 指定した樹林地における維持管理の支援

・維持管理の助成

1か所　浅間台

●取組6 森に関わるきっかけづくり

・市内大学や関連団体などとの連携や区主催による地域の森でのイベントの実施

1回　クラフト教室等(1回)

柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

●取組13 市民が農を楽しみ支援する取組の推進

・市民が農を楽しみ支援する取組の推進

コーディネーター派遣　1件

浅間台小学校

●取組16 市民や企業等との連携

・市民や企業等との連携

企業等と連携した地産地消の推進

横浜フラワー＆ガーデンフェスティバル2025における地産地消サポート店のキッチンカー出店(パシフィコ横浜)／神奈川食と農のマルシェにおける横浜農場のPR(横浜ランドマークタワー)／三越伊勢丹と連携した横浜野菜マルシェの開催と横浜農場のPR(ジョイナス横浜)／第1回 Music Terrace Open Day マルシェ出店(ミュージックテラス《Kアリーナ》)

柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

●取組17 シンボル的な緑の創出・育成

・シンボル的な緑の創出・育成

公有地化によるシンボル的な緑の創出・育成

伊勢町もくせい公園(育成)

●取組18 街路樹による良好な景観づくり

・街路樹による良好な景観づくり

良好な維持管理　544本

環状1号線／桜川新道

並木の再生　1路線

石崎川プロムナード※整備中・サクラ(ヨコハマヒザクラ)

●取組22 地域緑のまちづくり

・地域緑のまちづくり

継続支援　1地区

南幸地区

●取組23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

・緑や花を身近に感じる各区の取組

各区の取組

「藤の花再生プロジェクト」推進事業／バラ育成講座等

身近な公共施設での緑の育成　3か所

西区庁舎／市長公舎／中央図書館

地域の花いっぱいにつながる取組

球根の配布(宮ケ谷公園など6か所)／花苗の配布(北軽井沢第二公園など11か所)／堆肥の配布(池ノ上公園など35か所)

●取組24 人生記念樹の配布

・人生記念樹の配布

307本

●取組25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

・保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

緑の創出　1か所

一本松小学校

緑の育成　1か所

南浅間保育園

●取組26 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり

・緑花による魅力づくり

3か所　グランモール公園／さくら通り／けやき通り

よこはまの緑を
未来を担う
子どもたちのために

暮らしを支え、豊かにする緑を未来に残すために、
横浜市は、市民・事業者の皆様に「横浜みどり税」をご負担いただき、
緑をまもり、つくり、育む「横浜みどりアップ計画」を進めています。



横浜みどり税について

横浜みどり税の税額

個人市民税均等割に年間 **900円** を上乗せ

※法人の場合は、年間均等割額の9%相当額を上乗せ

※課税年度は、令和10年度までです。

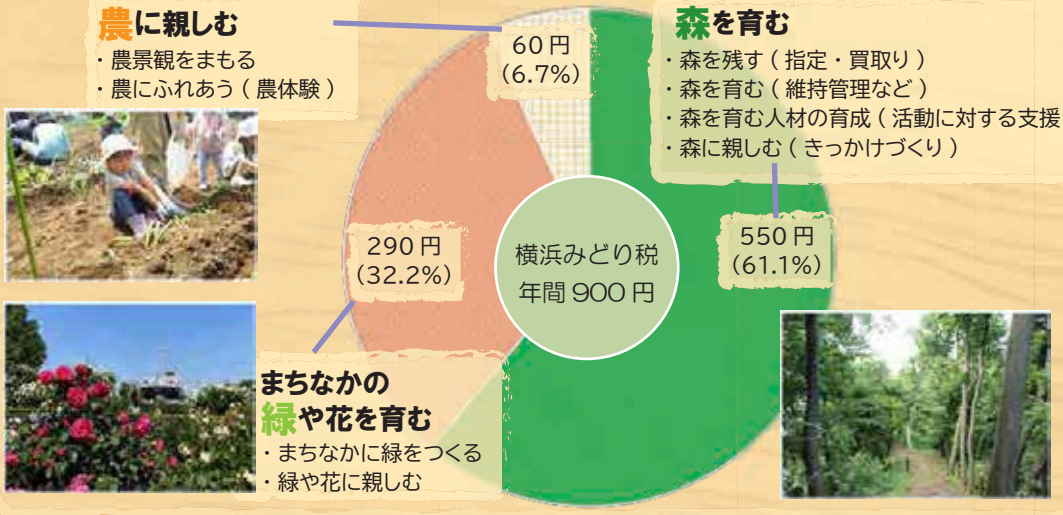


横浜みどり税の使途

「横浜みどりアップ計画」のうち、下記の横浜みどり税の使途に該当する事業へ横浜みどり税を充当します。

- 樹林地・農地の確実な担保
- 身近な緑化の推進
- 維持管理の充実による みどりの質の向上
- ボランティアなど市民参画の促進につながる事業

横浜みどり税（年間900円）の使いみち



横浜みどりアップ計画［2024−2028］

計画の理念　みんなで育む　みどり豊かな美しい街　横浜

５か年の目標

・緑の減少に歯止めをかけ、総量の維持を目指します
・地域特性に応じた緑の保全・創出・維持管理の充実により緑の質を高めます
・市民と緑との関わりを増やし、緑とともにある豊かな暮らしを実現します

みどり税を活用した取組

市民とともに次世代につなぐ森を育む

５か年の主な取組

- 樹林地の新規指定と買入れ申し出への対応
- 指定樹林地への維持管理支援
- 森に親しむきっかけづくり

市民が身近に農を感じる場をつくる

５か年の主な取組

- 水田保全への支援
- 農園の開設など、農とふれあう機会の全市的な展開

市民が実感できる緑や花をつくる

５か年の主な取組

- まちなかでの緑の創出や街路樹等による景観づくり
- 地域での緑や花の取組支援
- 子どもを育む空間での緑の創出・育成

市民・事業者の皆様に取組の意義や成果、緑がもたらす効果をわかりやすく伝えることで、取組への共感と、緑のある暮らしの実感につながる**広報**を展開

森林環境税（国税）と横浜みどり税



Q　国の森林環境税と横浜みどり税はどう違うの？

A　目的と使いみちが異なります。

森林環境税は、林業が成り立たない地方の山間部の森林整備や、国産木材の利用促進を主な目的として創設されました。横浜市では、木材利用の促進を図るため、学校施設や公園などの市民利用施設の木材利用工事に活用しています。

横浜みどり税は、市内の緑の保全・創造を目的としたものであり、樹林地の買い取りや、まちなかでの緑の創出などに活用しています。森林環境税と横浜みどり税は、趣旨と使いみちが異なります。

●森林環境税（国税）・森林環境譲与税について

趣旨（目的）	わが国の温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止等を図るための地方財源を安定的に確保するため
課税手法・税率	年間 1,000 円を個人住民税と併せて賦課徴収
課税期間	令和６年度から
市町村への譲与	国が令和元年度から一定の基準で 譲与 （令和5年度までは、 地方公共団体金融機関の準備金を活用）
使いみち	間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に関する費用

※このほか、神奈川県では、水源環境保全・再生のために、個人県民税に対する超過課税を実施しています。

【お問い合わせ】

●「横浜みどり税」について
▶区役所税務課　または　総務局税務課　電話：045-671-2253　FAX：045-641-2775

●「横浜みどりアップ計画[2024−2028]」について
▶みどり環境局戦略企画課　電話：045-671-4214　FAX：045-550-4093

令和８年４月　横浜市総務局税務課

横浜みどりアップ計画

地域・個人で利用できる！横浜みどりアップ計画の制度ガイド

～ 街の緑が、暮らしを豊かにする ～

横浜みどりアップ計画には、**地域や個人の方が利用できる制度**もあります。
「こんなことがしたい」から探せるようにまとめています。

地域・団体で取り組む　個人・ご家庭で使える　参加・受講する

地域・団体で取り組む

①

地域で花植えや植樹に取り組みたい
制度名：地域緑のまちづくり

【お問合せ先】
環境活動事業課（緑化担当）
045-671-3447

【できること】住宅地・商店街などで、地域にふさわしい緑を増やす取組を支援します。
【支援内容】最大3年間 1,500万円まで （整備費90%以内 ほか）
【対象】地域が主体となって緑化計画を提案する団体（選考あり）

②

森づくりの活動を充実させたい
制度名：森づくり活動団体への支援

【お問合せ先】
環境活動事業課（森づくり担当）
045-671-2624

【できること】保全管理計画づくり、研修、道具の貸出し、チップ化作業、アドバイザー派遣などをサポートします。
【支援内容】研修・道具貸出・アドバイザー派遣等の各種サポート
【対象】市民の森・都市公園内などの樹林地で活動する団体

個人・ご家庭で使える

③

家族の思い出になる木を育てたい
制度名：人生記念樹の配布

【お問合せ先】
環境活動事業課（緑化担当）
045-671-3447

【できること】出生・結婚などの記念に、市内で生産された記念の苗木をお渡しします。
【支援内容】記念の苗木を配布（年2回・6月頃と10月頃／市内各所で配布）
【対象】記念を迎える横浜市民（郵送・インターネットで申込）

④

歴史ある樹木を次世代に残したい
制度名：名木古木の保存

【お問合せ先】
環境活動事業課（緑化担当）
045-671-3447

【できること】町の象徴として親しまれてきた由緒ある樹木を「名木古木」に指定し、保存を支援します。
【支援内容】診断50%（上限4万円）・治療50%（上限30万円）・管理50%（上限20万円）
【対象】由緒ある樹木の所有者（指定には審査あり）

⑤

所有している森の管理への支援を受けたい
制度名：樹林地維持管理助成

【お問合せ先】
環境活動事業課（森づくり担当）
045-671-2624

【できること】緑地保全制度に指定された民有樹林地の、越境樹木や危険樹木などの管理作業を助成します。
【支援内容】A:樹木管理・草地管理の作業は50万円まで100%（超過分50%）
B:フェンス・土留め設置50%
（AB合わせて上限200万円）
【対象】緑地保全制度に指定されている民有樹林地の所有者

参加・受講する

⑥

森づくり活動に参加したい
制度名：森づくりボランティア

【お問合せ先】
環境活動事業課（森づくり担当）
045-671-2624

【できること】入門講座や体験会などに参加でき、横浜の森づくり活動に加わることができます。
【支援内容】各種研修の受講・体験会への参加・情報発信
【対象】18歳以上で市内在住・在学・在勤の個人または市内事業者

⑦

農作業や緑の手入れを基礎から学びボランティアとして活動したい
制度名：市民農業大学講座

【お問合せ先】
環境活動支援センター
045-711-0635

【できること】野菜・果樹・花き・樹木の栽培管理を実習中心で学び、修了後は「農と緑の環境リーダー」として援農や緑化ボランティアで活躍できます。
【講座内容】2年間の講座（1年次35回＋2年次の農家実習10回）（別途受講料あり）
【対象】市内在住67歳以下で、修了後に援農・緑化ボランティアの意思がある方（定員30人・多数時は選考／年1回・2～3月募集）

⑧

横浜の食と農をつなぎ地産地消を広めたい
制度名：はまふぅどコンシェルジュ講座

【お問合せ先】
農業振興課（地産地消担当）
045-671-2639

【できること】横浜の農業・農産物・生産者・食をテーマに、講義・実習・視察で地産地消の理解を深める連続講座です。修了すると「はまふぅどコンシェルジュ」に認定されます。
【講座内容】全5回の連続講座（講義・バスツアー・農体験・料理教室・グループワーク）（別途受講料あり）
【対象】地産地消の実践・普及に積極的に取り組む意思のある方（定員20名・多数時は選考／年1回・3月募集）



◆制度ガイドに関するお問合せ先
みどり環境局戦略企画課
電話 045-671-2712 ／ FAX 045-550-4093
Eメール mk-midorikoho@city.yokohama.lg.jp

◆各事業お問合せ先

西区連合町内会長会資料
令和８年 10 月 19 日
横 浜 市 港 湾 局

東京湾沿岸海岸保全基本計画（神奈川県区間）改定に伴う パブリックコメントの実施について【情報提供】

１ 事業の趣旨

津波、高潮・波浪からの海岸の防護について、**将来的な気候変動の影響を考慮するため**、神奈川県は**東京湾沿岸の“海岸保全基本計画”を改定**します。

県により**パブリックコメントが行われます**のでお知らせします。

（海岸保全基本計画とは）
・海岸の**防護**・環境・利用の方針を定めた計画
・防護対象の災害を「数十年から百数十年に１回発生するような津波」「過去最大級の台風による高潮・波浪」としており、それ以上の災害は避難が前提となっています

２ お願いしたいこと

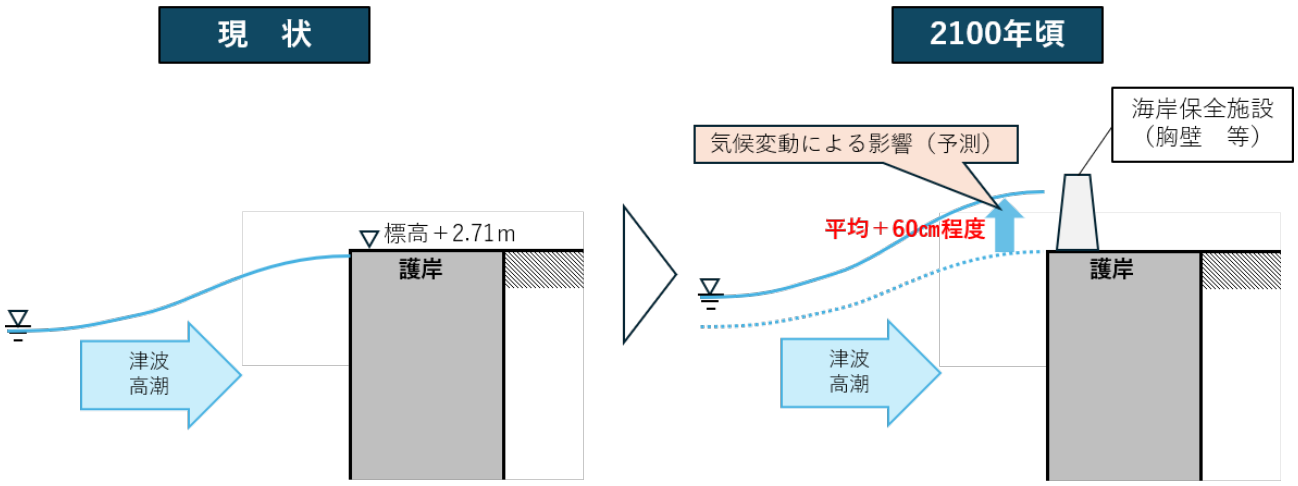
【地区連長】地区連合定例会等で情報提供をお願いします。
【単位会長】単位会長あて資料を送付します。定例会等で周知をお願いします。

３ 主な改定内容と横浜市の対応について

・改定計画では、横浜市域は、**2100 年時点で現行の防護計画高（標高 2.71m） から平均で 60 ㎝程度上昇（波浪の影響を除く）**すると想定※1されています。
・計画改定を踏まえ、横浜市は、水際線の利用、海辺の賑わい、景観等に十分配慮しながら、**海岸保全施設**（津波・高潮から海岸を防護する施設）**の整備を検討**※2 していきます。

※１ 気候変動による将来水位の上昇には、不確実な要素が含まれており、適宜、計画の見直しを行うこととされています。
※２ 金沢地区、大黒ふ頭地区については整備済、または整備中の箇所があります。

【気候変動による水位上昇と対策のイメージ】



４　神奈川県によるパブリックコメントの実施について

(1)意見募集期間

令和８年 10 月 16 日から令和８年 11 月 16 日まで

(2)海岸保全基本計画(改定素案)の閲覧及び意見提出方法

神奈川県ホームページ(https://www.pref.kanagawa.jp /docs/f4i/pub/c8310794.html)
をご覧ください。

５　問い合わせ先

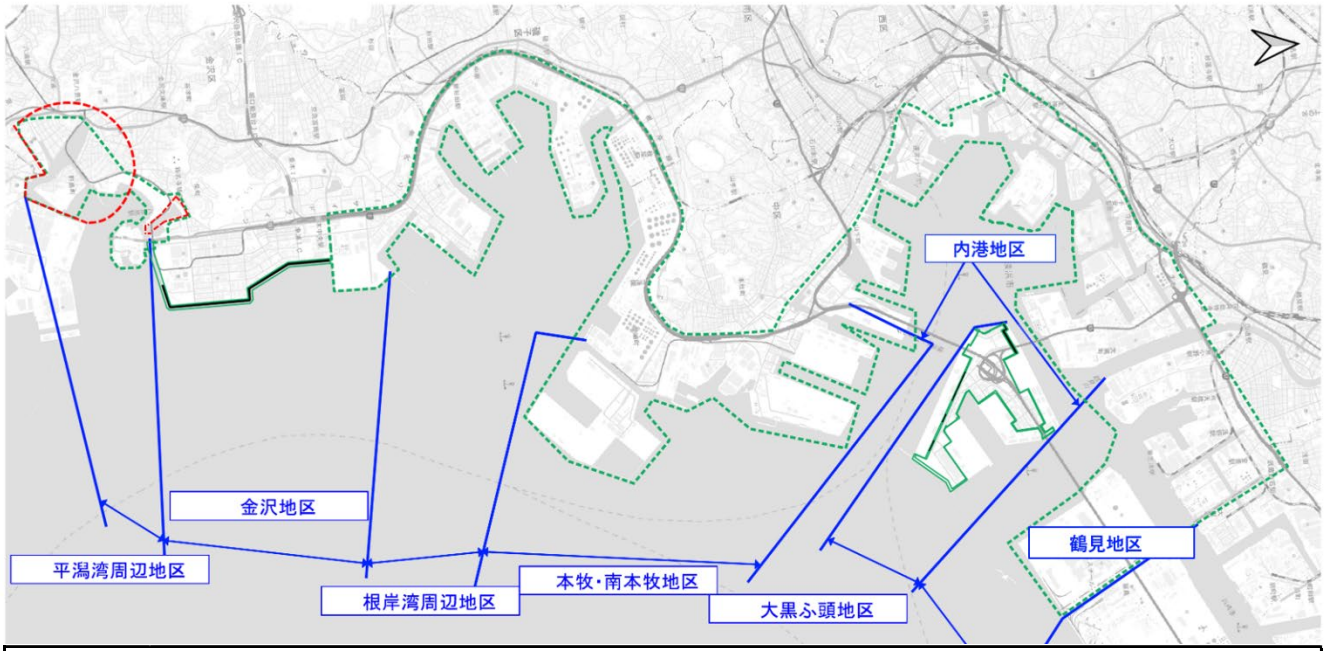
(1)海岸保全基本計画（改定素案）全般について

神奈川県県土整備局河川下水道部河港課なぎさグループ
電話　045-210-6514　ﾌｧｯｸｽ 045-210-8897

(2)横浜市域の対策について

横浜市港湾局政策調整部政策調整課　担当　大賀・井上・多田
電話　045-671-7300

【横浜市域の海岸保全施設の整備状況】



凡例	
―――	海岸を防護するための施設（海岸保全施設：嵩上げした護岸、止水のための胸壁 等）
―――	施設を整備する場所として指定された区域
- - - - - -	施設の整備を検討する区域
- - - - - -	漁港区域

市連会 10 月定例会説明資料
令 和 8 年 10 月 13 日
資 源 循 環 局 業 務 課

年末年始の資源とごみの収集日程について

1　事業の趣旨

本年度の年末年始の資源とごみの収集は以下のとおり行いますので、自治会町内会長様へお知らせをさせていただきます。(詳細は、裏面資料参照)

また、班回覧の中止に伴い、自治会町内会掲示版へのチラシの掲出をお願いいたします。チラシの配布につきましては、11 月下旬に各自治会・町内会へ配送させていただきますので、よろしくお願いいたします。

2　お願いしたいこと

【区 連 長】ご承知おきください。
【地区連長】地区連合定例会等で周知をお願いします。
【単位会長】定例会等で周知していただき、掲示板へのチラシ掲出をお願いします。

3　年末年始の収集日程について

(1)　12 月 31 日（木）から１月３日（日）まで、収集をお休みさせていただきます。
(2)「燃やすごみ」「資源物」について、年末は 12 月 30 日（水）まで、年始は１月４日（月）から通常の曜日どおり収集します。

4　広報について

(1)　自治会町内会掲示板へのチラシ掲出
　　※11 月下旬に各自治会町内会へ配送させていただきます。
(2)　各集積場所に収集日程表を貼付
(3)　広報よこはま 12 月号（市版）
(4)　ごみ収集車によるアナウンス
(5)　市・局ホームページへの掲載
(6)　LINE・X（旧 Twitter）などへの掲載

5　資料（裏面）

年末年始の資源とごみの収集日程

担当：業務課計画係（収集日程に関するお問合せ）
　　業務課運営係（広報に関するお問合せ）
電話：671-2551（計画係）、671-3815（運営係）
FAX ：業務課 662-1225

年末年始の資源とごみの収集日程

12月31日（木）から1月3日（日）まで、収集はお休みさせていただきます

※「古紙・古布」は、実施している団体か回収業者にお問合せください

- 年末も、**資源とごみの分別と減量にご協力をお願いします。**
- 資源とごみは、**各収集日の 朝8時まで にお出しください。**
  （年末年始の期間は、通常と収集時間が変わることがあります。）
- 収集がお休みの日は、資源とごみを絶対に出さないでください。
- 分別されていないものは収集できません。



横浜市資源循環局マスコット イーオ

月日		燃やすごみ・燃えないごみ スプレー缶・電池類	プラスチック資源	缶・びん・ペットボトル 小さな金属類
12月	28日（月）	通常の曜日どおり収集します		
	29日（火）	通常の曜日どおり収集します		
	30日（水）	通常の曜日どおり収集します		
	31日（木）	収集はお休みです		
1月	1日（金）			
	2日（土）			
	3日（日）			
	4日（月）	通常の曜日どおり収集します		
	5日（火）	通常の曜日どおり収集します		
	6日（水）	通常の曜日どおり収集します		

※古紙・古布
横浜市の収集ではありません 実施している自治会・町内会等か、回収業者へ直接お問合せください

粗大ごみの申込み

電話でのお申込みは12月31日（木）から1月3日（日）までお休みします。

※12月のお申込みは特に混み合い、年内の収集にお伺いできない場合がございます。

横浜市 粗大ごみ 2次元コード

⇦ 粗大ごみのお申込みについてはこちらから
又は、インターネットで「横浜市　粗大ごみ」と検索

12月30日正午から1月3日までにお申し込みされた方への返信（収集日等のお知らせ）は、1月4日以降になります。

横浜市は1月19日から、道路などの屋外の公共の場所は禁煙です。

詳細はこちら

令和8年度　横浜市資源循環局

令和８年度ふれあい会研修会

『誰かがやる』を
『みんなでやる』
に変える時間です



学んで、備えて、つながろう！

つながれば
地域はもっと安心

令和８年
12/9 水
10:00～11:30
西公会堂 ２階
１号会議室

対　象

・ふれあい会の担い手
・自治会町内会、地区社協、民生委員･児童委員
・地域で見守り･防犯活動されている方

内 容（予定）

■講義：地域で起きている変化と課題
「気になる」をつなげる
■情報・意見交換



講 師

Go!Go!! 市民防犯推進プロジェクト主宰
市民防犯インストラクター
武田 信彦 氏

市民防犯のバイオニアとして、全国各地で講演やワークショップを多数実施

お問合せ
お申込み

西区社会福祉協議会　TEL.045-450-5005
E-mail　info-nishi@yokohamashakyo.jp

お申込みは、Forms、メール、
または窓口でお申込みください。
申込時には、裏面の必要事項を
お知らせください。

FAX 045-451-3131

西区社会福祉協議会　担当：原田･川島

令和８年度　見守り研修会

参加申込書

【申込者】

所　属	該当するものに〇をつけてください ふれあい会 ・ 自治会町内会 ・ 地区社協 ・ 民生委員･児童委員 友愛活動員 ・ 防犯指導員 ・ その他（　　）
団体名	
申込者名	
電話番号	

※ 中止等の場合は申込者の方に連絡いたします。

【参加者】 ２名まで

	お名前
1	
2	

申込期日：　１２　月　１日（　火　）

□第一地区　□第２地区　□第３地区
□第４地区　□第五地区　□第六地区　□MM 地区

令和8年度にこまち講座

みんなでつくる、共に生きる地域づくり
～ジャーナリズムの現場から見た地域のリアル～

「あの人、ちょっと気になるな」「声をかけたほうがいいのかな」
そんな気持ちを抱いたことはありませんか？

一人ひとりの小さな気づきや思いやりが、誰もが安心して暮らせる地域づくりにつながります。身近な話題を通して「地域共生社会」について学び、ともに支え合いながら暮らせる地域づくりを一緒に考えてみませんか。

講師　野澤　和弘　氏　植草学園大学 副学長・教授

早稲田大学法学部卒業後、毎日新聞社に入社。社会部記者として、いじめ、児童虐待、障害者虐待、社会保障などを長年取材。2019年に退社。
現在は、大学教育に加え、国の障害者政策に関わる審議会委員を歴任し、障害のある人もない人も共に暮らせる「地域共生社会」の実現に向け、現場と制度の両面から発信を続けている。
著書に『弱さを愛せる社会へ』など多数。



日時　12月15日(火)
14時～15時半
開場：13時半

場所　西公会堂講堂
（西区岡野1-6-41）

定員：200名
※西区在住・在勤者が優先

参加方法

・11月11日(水)～12月8日(火)までに、電話、FAX、電子申請システム、Eメールのいずれかでお申し込みください(裏面参照)
・Eメール、FAXの方は、「氏名」をご記載ください
・手話通訳を希望される方は、11月30日(月)までにお申し込みください
・**講師に聞いてみたいことがありましたら、申込時にお知らせください**
・中止の場合は、西区ホームページにて掲載します。

主　　催：西区役所、西区社会福祉協議会
問合せ先：西区役所福祉保健課　電話：320－8437、FAX：324－3703
メール　　：ni-nikomachi@city.yokohama.lg.jp

FAX 045-324-3703

西区役所福祉保健課

電子申請はこちらから
（11/11（水）より受付）



「令和8年度　にこまち講座　申込書」

氏　　名	
手話通訳の希望	有　・　無

【講師に聞いてみたいことがありましたら、ご記載ください】

メール：ni-nikomachi@city.yokohama.lg.jp
メールでお申し込みされる場合は本文に、申込内容をご記載ください

自分の地区はどこかな？





『にこまちのうた』や『にこまちプラン』の中にも、自分にできることのヒントがたくさんあるよ！

にこまちのうた（にこやか しあわせ くらしのうた）
～にこまちプランのイメージソング～

作曲・編曲：神山純一　作詞：にしの未来

水仙（すいせん）の花が咲いたら　春はもうすぐやってくる
新しいこと何かしたいな　そんな気持ちになってくる
はじめよう　今日からわたしにできること
声をかけたら　今日からあなたとお友達

『にこまちプラン』はココをチェック

「にこまちプラン」について、聞いてみたいな！と思ったときの連絡先（れんらくさき）

1. 西区役所（にしくやくしょ） 福祉保健課（ふくしほけんか） TEL 320-8437
2. 西区社会福祉協議会（にしくしゃかいふくしきょうぎかい） TEL 450-5005
3. 浅間台地域ケアプラザ（せんげんだいちいき） TEL 311-7200
4. 藤棚地域ケアプラザ（ふじだなちいき） TEL 253-0661
5. 宮崎地域ケアプラザ（みやざきちいき） TEL 261-6095
6. 戸部本町地域ケアプラザ（とべほんちょうちいき） TEL 321-3200

西区役所（にしくやくしょ） 福祉保健課（ふくしほけんか）
〒220-0051 西区中央1-5-10
TEL 045-320-8437　FAX 045-324-3703
メールアドレス ni-nikomachi@city.yokohama.lg.jp

社会福祉法人（しゃかいふくしほうじん）　横浜市西区社会福祉協議会（よこはましにしくしゃかいふくしきょうぎかい）
〒220-0011
横浜市西区高島2-7-1　ファーストプレイス横浜3階
TEL 045-450-5005　FAX 045-451-3131
メールアドレス info-nishi@yokohamashakyo.jp

西区社協

第5期 にこまちプラン こども版（ばん）

―はじめよう 今日からわたしに できること！―

西区に住む・学ぶ・働くひとたちが、
にこやか しあわせに くらすためのプラン、それが「にこまちプラン」。
合言葉は「はじめよう　今日からわたしにできること」。
さあ、みんなには何ができるか、一緒（いっしょ）に考えよう！





さっきみたいなとき、みんならどうする?

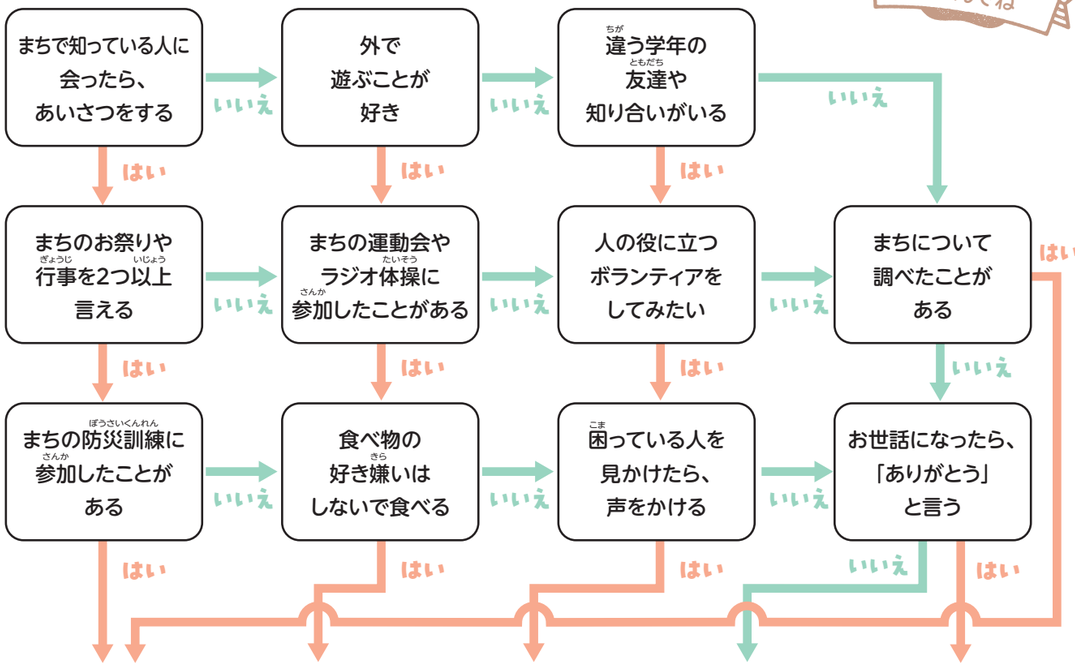


みんなそれぞれ得意なことがあるよ!
あなたはどのマスターかな?

マスター診断

はい→へ
いいえ→へ
すすんでね

スタート



まちの安全マスター

まちの安心・安全は任せて!

- ゴミを一つ拾ってみよう
- 防災訓練したことを家の人に話してみよう



元気づくりマスター

みんなを元気にするのが得意!

- ラジオ体操に参加してみよう
- 早寝早起きをしてみよう



おたすけマスター

困っている人に気づけるよ!

- 困っている人がいたら、知っている大人に知らせてみよう
- 友達が元気ない時、声をかけてみよう



つながりマスター

人と人をつなぐよ!

- 地域のイベントに行ってみよう
- 違う学年の人と話してみよう



あいさつマスター

あいさつで周りを明るくするよ!

- 自分から先にあいさつしてみよう
- いつも会う人に名前を覚えてもらおう



いくつ準備できてる？

医療や衛生面での備え チェックリスト

備えの例



- ☐ 包 帯　☐ ガーゼ
- ☐ ばんそうこう　☐ 消毒薬
- ☐ ペットボトルの水（消毒用や服薬用）　☐ 体温計
- ☐ 常備薬（胃腸薬、鎮痛剤、かぜ薬など）　☐ 持病のある方のお薬
- ☐ お薬手帳　☐ マイナ保険証（資格確認書）
- ☐ 歯磨きセット（水のいらない液体歯磨きや歯磨きシートがあると安心！）
- ☐ マスク　☐ ウエットティッシュ
- ☐ ビニール袋　☐ タオル（止血用）

一人ひとりの事情によって、必要な備えは異なります。
いつ、どこで、どんな災害が起こるかわかりません。
いざという時のために、必要なものについて身近な人と話し合い、
用意しておきましょう。

災害医療についてもっと知りたい場合は…

西区ウェブページ「西区の災害時医療」をご覧ください。

詳しくは 横浜市西区 災害医療 検索

Yナース（横浜市災害支援ナース）募集！

横浜市では、大規模災害発生時に医師、歯科医師、薬剤師、市職員とともに
医療救護活動を支援していただける看護職を募集しています。

Yナースとは

大震災発生等の災害時に、医師、薬剤師、市職員とともに、
横浜市防災計画に基づき「医療救護隊」として活動する看護職のことです。
区内の避難所等で主に軽症者に対する応急医療を行います。

詳しくはこちら

発行・問合せ先：西区役所福祉保健課　Tel.045-320-8436

令和８年11月発行

災害時のけがどうしたらいいの？

まずは症状を確認しましょう

軽いけがの場合

- ・歩行できる
- ・すり傷、打撲など

自分や
周りの人と助けあって
応急手当をしましょう



自分や周りの人で手当てができないけがは、以下の図を参考に受診を！

軽症の場合

- ・歩行できる
- ・命の危険はないが受診が必要なけが

黄色いのぼり旗を出している
お近くの診療所・クリニックへ



中等症の場合

- ・歩行できない
- ・出血の多いけがや骨折など

黄色いのぼり旗を出している
災害時救急病院へ

西区内3か所	亀田病院、横浜第一病院、松島病院



被害が大きいと、救急車が足りなくなる可能性があります。
軽症・中等症は可能な範囲で助け合って搬送しましょう。

重症の場合

- ・意識がない
- ・呼吸が確認できないなど

赤いのぼり旗を出している
災害拠点病院へ

西区内1か所	けいゆう病院



災害時の受診は「旗」が目印！

災害時に診療できる病院・診療所は「診療中」、
薬を提供できる薬局は「開局中」と書かれた旗を出します



※なお、西区では年３回程度、旗を出す訓練を行っています。



いざという時に備えて今日からできること



災害時は、けがをした人や具合の悪い人が一度に発生します。
医療機関の設備や人手にも限りがあるため、
いつもの医療機関に受診できるとは限りません。

「どこへ行けばいい？」で迷わないために

普段から自宅や職場近くの診療所・クリニックを確認しておきましょう

災害時に市内の診療所・クリニックや薬局の開設状況を確認するには…

よこはま災害医療マップ
（横浜市医師会開発）
をご確認ください。

◀広報動画

◀よこはま災害医療マップ

※よこはま災害医療マップは、災害時のみ稼働します。いざという時のために、ブックマークしておくことをおすすめします。

すぐに受診できない場合 応急手当が役立ちます



すり傷・切り傷の場合

- 傷口についた雑菌や砂などを流水できれいに洗い流しましょう。
- 出血している時は、清潔な布で傷口を強く圧迫します。
- 感染を防ぐため、自分の手をビニール袋などで覆い、相手の血液や傷口に直接触れないようにしましょう。

骨折が疑われる場合

基本は動かさず、受診するまでの応急処置として段ボールや本で簡単に固定しましょう。

応急手当の方法はこちらのページも参考にしてください。 **横浜市ウェブページ「救命処置以外の応急手当」**

傷の状態や体調の変化にも注意しましょう！

- ☐ 止血できない
- ☐ 手足が冷たい
- ☐ 顔が青白い
- ☐ 口が開けにくい
- ☐ 呼びかけへの反応がおかしい
- ☐ 吐き気や激しい頭痛を訴える

といった症状がある場合は迷わず受診してください。

避難所でこんなことに困るかもしれません。

- 水が足りないから口をゆすげない
- 歯磨きができなくて口の中が気持ち悪い

防災用品に歯磨きセットは入っていますか？

お口が清潔でないと肺炎になりやすく全身の病気の悪化につながります。

防災用品として歯磨きセットを用意しましょう。



水のいらない液体歯磨きや歯磨きシートがあるとより安心です。



いざという時、薬の名前を説明できますか？
災害時、いつもの医療機関に受診できなかったり、すぐに薬を受け取れないことがあります。

お薬手帳を活用しましょう



特に持病等により薬を服用している方は、薬の情報がわかるもの（お薬手帳やマイナ保険証）を日頃から携帯しましょう。

※お薬手帳の患者情報欄に副作用・アレルギー歴と既往歴・現病歴も記載しておきましょう。

薬は何日分ありますか？



- 常用薬は2週間（14日）分くらい余裕を持たせて保管しておくと安心です。
- また、薬は１か所にまとめ、保管場所を家族や身近な人と共有しておきましょう。

整理番号　　記入日:令和8年　　月　　日

令和9年西区新年賀詞交換会　出欠表　兼　申込書

↑こちらをスマートフォン等で読み取り、電子申請システムからも回答及びお申込みができます。

団体名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

〒　　－

所在地＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

担当者名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　電話番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

メールアドレス＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

①　令和9年西区新年賀詞交換会について

ご出席

ご欠席

どちらかを〇でお囲みください

②　今後の案内に関する希望

来年度以降の賀詞交換会のご案内について

□　郵送による案内を希望する

□　メールによる案内を希望する

→　メールアドレス：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿@＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

□　案内を希望しない

ご欠席の場合は、ここまでで終了です。ご協力ありがとうございました。

ご出席の場合は、裏面の項目にもご記入をお願いいたします。

ご出席の方は

【裏面に記入】

参加人数　：　＿＿＿＿＿＿人

☆ 参加される方の情報をご記入ください

ふりがな 氏　名	参加者名簿への掲載を **希望しない**方は✓	役　職	備考
	☐　名簿掲載を 希望しない		
	☐　名簿掲載を 希望しない		
	☐　名簿掲載を 希望しない		
	☐　名簿掲載を 希望しない		
	☐　名簿掲載を 希望しない		
	☐　名簿掲載を 希望しない		

※　欄が足りない場合は、コピーしてお使いください。
※　当日会場で配付する参加者名簿には、団体名・氏名・役職名を掲載します。
　　掲載を**希望しない**方は、氏名の右のチェックボックスに✓をご記入ください。これらの情報は、整理券の発送、参加者名簿への掲載、及び連絡以外には使用しません。

整理券・請求書等の送付先	☐ 参加者ご本人様あて　　☐ 申込ご担当者様あて
請求書の発行について	☐ 請求書が必要　　☐ 請求書は不要 →〔お宛名:　　様〕
参加費のお支払い方法 （予定するものに✓） ※参加費は事前支払制です。	☐ 払込取扱票による支払い　　☐ 指定口座に振込 ☐ 区役所で現金納付
お支払い予定日	月　　日　　※ 原則、11 月中にお手続きください
配慮事項等について （該当がある場合のみ）	☐ 手話通訳希望　　☐ 車椅子のご使用あり ☐ 託児サービス希望（　歳・　人）その他（　　）

申込人数　　人×　8,000 円　＝　　円(会費合計)

令和9年
西区新年賀詞交換会

地域の皆さまと新年をお祝いしましょう

令和9年1月5日(火)
13時00分～14時30分

新都市ホール(そごう横浜店9階)

要事前申込・支払

会費：8,000円

申込期間：令和8年10月26日～11月25日

お支払い方法：銀行振込みまたは区役所4階51番窓口で納付

お問合せ先：西区新年賀詞交換会実行委員会
西区総務課庶務係（TEL）320-8308

同日開催

令和9年 西区消防初出式

日　時：令和9年1月5日(火)10時から(9時30分受付開始)【申込不要】
場　所：横浜市立 みなとみらい本町小学校
内　容：式典、救助訓練一斉放水、車両展示イベント
問合先：西消防署総務・予防課庶務係　TEL：313-0119

市連会 10 月定例会説明資料
令 和 8 年 10 月 13 日
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局
GREEN × EXPO 推進課

横浜グリーンエクスポ開催半年前メディア発表会の開催及び「ヨコハマ18（イチハチ）コレクション」参加者募集への協力について【情報提供】

1　趣旨

「横浜グリーンエクスポ開催半年前メディア発表会」を開催し、横浜市出展「つなぐ横浜館」「つなぐ横浜フィールド」の名称や、市主催催事「YOKOHAMA GREEN CHALLENGE WEEK」「ヨコハマ18（イチハチ）コレクション」などの概要を発表しました。また、「ヨコハマ18（イチハチ）コレクション」では、ステージパフォーマンスの参加者を12月28日まで募集しています。

2　お願いしたいこと

【区連長】　ご承知おきください。
【地区連長】地区連合定例会等で情報提供をお願いします。
【単位会長】単位会長あて資料を送付します。定例会等で情報提供をお願いします。

3　内容（添付の記者発表資料をご参照ください）

(1)　「横浜グリーンエクスポ開催半年前メディア発表会」を開催

横浜市出展の名称を「つなぐ横浜館」及び「つなぐ横浜フィールド」に決定したことを発表したほか、「YOKOHAMA GREEN CHALLENGE WEEK」や「ヨコハマ18（イチハチ）コレクション」など、市主催催事の概要を紹介しました。また、市内10の大学・専門学校で活動する「EXPO部」の始動、「横浜ネイチャークエスト」の実施、横浜都心臨海部と会場を結ぶ直行バスの運行ルートの発表、TDMパートナー向けステッカーの配布など、開催に向けた多彩な取組を発表しました。

(2)「ヨコハマ18（イチハチ）コレクション」開催決定　ステージパフォーマンス出演者を募集

横浜グリーンエクスポ会期中、地域で活躍する区民の皆さまが主役となり、「食」と「エンターテインメント」を通じて、横浜18区それぞれの個性や地域の特色を紹介するとともに、地域で育まれてきた文化や伝統、特産品、地域活動など、多彩な魅力を発信いただくイベント「ヨコハマ 18 コレクション」を開催します。

開催にあたり、音楽やダンス、演劇などのステージパフォーマンス参加者を、12月28日まで募集しています。区の特産品や地産地消の飲食物などを扱うブース出展者についても、11月2日から募集を開始する予定です。

多くの皆さまのご応募をお待ちしています。

脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課
電話　045-671-4627 /FAX 045-212-1223
メール　da-greenexpo@city.yokohama.lg.jp

横 浜 市 記 者 発 表 資 料

明日をひらく都市
OPEN×PIONEER
YOKOHAMA

令 和 8 年 9 月 29 日
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局
G R E E N × E X P O 推 進 部

「横浜グリーンエクスポ開催半年前メディア発表会」を開催

横浜市出展の名称が「つなぐ横浜館」「つなぐ横浜フィールド」に決定

横浜市が主催する特別な祭典「YOKOHAMA GREEN CHALLENGE WEEK」と「食」と「エンターテインメント」で区民が主役となるイベント「ヨコハマ 18（イチハチ） コレクション」

横浜都心臨海部と会場を結ぶ直行バスの運行ルートも発表

横浜市は、2027 年３月から開催する横浜グリーンエクスポ（GREEN×EXPO 2027）の開催半年前を迎え、「横浜グリーンエクスポ開催半年前メディア発表会」を開催しました。

発表会では、横浜市出展の名称を「つなぐ横浜館」及び「つなぐ横浜フィールド」に決定したことを発表したほか、「横浜と未来をつなぐ７日間」をテーマに展開する「YOKOHAMA GREEN CHALLENGE WEEK」や、横浜 18 区民が主役となって各区の魅力を発信するイベント「ヨコハマ 18 コレクション」など、市主催催事の概要を紹介しました。

また、市内 10 の大学・専門学校で活動する「EXPO 部」の始動、「横浜ネイチャークエスト」の実施、横浜都心臨海部と会場を結ぶ直行バスの運行ルート、TDM パートナー向けステッカーの配布など、開催に向けた多彩な取組についても発表しました。

＜横浜市出展＞

■横浜市出展の名称を「つなぐ横浜館」「つなぐ横浜フィールド」に決定

「世界の明日（あす）を、みんなでひらく。」をコンセプトとし、「建物空間を活用した発信拠点」と「フィールドを活用した活動拠点」の２か所の出展をお知らせしてきました。

横浜グリーンエクスポのホストシティとして、市民・企業の皆様をはじめ、これまでの各種イベントやワークショップ、ボランティア募集、STYLE100 の取組などを通じて、多くの方々とともに準備を進めています。

これまでに生まれた多様なつながりを横浜グリーンエクスポの場に結集し、さらに開催後の未来へとつないでいきたいという思いを込め、このたび、「建物空間を活用した発信拠点」の名称を「つなぐ横浜館」、「フィールドを活用した活動拠点」の名称を「つなぐ横浜フィールド」に決定し、「つなぐ横浜館」公式 WEB サイトを公開しました。

開幕に向けて、市民・企業の皆様をつなぐ参加型ワークショップの開催等、様々な取組を進めます。

【ロゴデザイン】

つなぐ 横浜館 CIRCULAR LINK YOKOHAMA Hub

つなぐ 横浜フィールド CIRCULAR LINK YOKOHAMA Field

【つなぐ横浜館　公式 WEB サイト URL】
https://yokohama-hub.city.yokohama.lg.jp

裏面あり

＜参考＞「つなぐ横浜館」「つなぐ横浜フィールド」の整備状況

「つなぐ横浜館」は、９月８日に GREEN×EXPO 協会より建物の引き渡しが完了しました。今後、内装や外構の工事を進め、開幕に向けて準備を進めていきます。



「つなぐ横浜館」9 月 8 日撮影

「つなぐ横浜フィールド」も、開幕に向け花壇や休憩スポット、園路などフィールド全体の整備を進めています。



「つなぐ横浜フィールド」9 月 8 日撮影

＜横浜市主催催事＞

■横浜と未来をつなぐ7日間「YOKOHAMA GREEN CHALLENGE WEEK」

横浜市出展の取組の一つとして、「世界の明日を、みんなでひらく。」というコンセプトを体現する祭典「YOKOHAMA GREEN CHALLENGE WEEK」を、横浜グリーンエクスポ会場で開催します。

循環型都市を目指す横浜市が「チャレンジ」をキーワードに展開する、誰もが楽しみながら参加できる特別な祭典です。

パレードや蝶をモチーフとしたバタフライシンボルオブジェ、プロのアーティストによる音楽ライブ、サーキュラーな暮らしを体感できるパークなどを通じて、新しい未来に向けたさまざまな挑戦を発信します。

【ロゴデザイン】

YOKOHAMA GREEN CHALLENGE WEEK
グリーンチャレンジウィーク

- 開催日程：2027 年５月 26 日(水)～６月１日(火)
- 開催場所：横浜グリーンエクスポ会場全体
- ４つのメイン企画：
  - サーキュラーをテーマに心おどる未来の物語に出会う「パレード」
    世界的なアーティストとコラボレーションしたデザイン、リユース素材を活用した衣装やフロートを用いて会場で大規模なパレードを開催します。
  - エネルギーがめぐるサステナブルな未来のシンボルオブジェ「バタフライ」
    自然の巡りをつなぐ存在である蝶をモチーフにエネルギーがめぐるサステナブルな未来のシンボルオブジェを設置します。会場を象徴するフォトスポットとしてもお楽しみいただけます。
  - 音楽の力でサステナブルな未来への想いをつなぐ「ライブ」
    世代を超えて多くの皆さまに音楽の力を通じてグリーンな未来に向けてのメッセージをお届けします。
  - サーキュラーな未来の暮らしのヒントが見つかる「パーク」
    サステナブルな暮らしを実践する皆さまが集い、さまざまな体験をお届けします。食の展示・販売や体験型のワークショップ、物品の販売など、実際にグリーンな暮らしを実践いただくための機会をご用意します。

次頁あり

【キービジュアル】



■横浜 18 区民が主役のイベント「ヨコハマ 18（イチハチ）コレクション」

【ロゴデザイン】

ヨコハマ 18（イチハチ）コレクション
Yokohama Ichihachi Collection

地域で活躍する区民の皆さまが主役となり、食とエンターテインメントを通じて、各区の文化、食などの魅力や、活動を発信するイベント「ヨコハマ 18 コレクション」を、横浜グリーンエクスポ会場内で開催します。

来場者と参加する区民の皆さまに新たな出会いやつながりが生まれ、「参加したくなる」「行ってみたくなる」イベントを目指します。

また、開催にあたり、横浜の魅力をともに発信・出演していただける個人・団体の皆さまを募集します。

- 開催日程：2027 年 7 月 21 日(水)～7 月 29 日(木)
- 開催場所：横浜グリーンエクスポ会場内 大催事広場（仮称）
- 募集期間：
  - ステージパフォーマンス（ダンスや音楽、伝統芸能など）
    募集期間：2026 年 10 月 1 日(木)～12 月 28 日(月)
  - ブース出展（特産品等の提供・PR、食と地産地消等の魅力発信）
    募集期間：2026 年 11 月 2 日(月)～12 月 28 日(月)　（予定）
- 応募ページ URL：
  https://yokohamagreenexpo-saiji.city.yokohama.lg.jp/18collection/guidelines/

【横浜市主催催事　公式 WEB サイト URL】
https://yokohamagreenexpo-saiji.city.yokohama.lg.jp

裏面あり

＜市民参加の取組＞

■市内 10 の大学・専門学校に「EXPO部」が誕生しました！

横浜グリーンエクスポの開催に向け、大学生等が主体となって、エクスポを盛り上げるコミュニティ「EXPO 部」が横浜市内 10 の大学・専門学校で立ち上がりました。

学園祭におけるエクスポの情報発信やプロギングをはじめとする環境にやさしい活動など、学生ならではの発想による取組を展開し、SNS 等を通じて、大学・専門学校と本市が協力し、市内のキャンパスから学生発のムーブメントを生み出します。

EXPO 部のロゴ(標準例)



各大学の EXPO 部代表メンバーが集合(2026年9月)

■横浜ネイチャークエスト「2027 年、横浜グリーンエクスポ開催！横浜の自然を見つけよう！」

横浜グリーンエクスポに向けた機運醸成を図るとともに、市内の豊かな生物多様性への関心を高めていただくため、いきものコレクションアプリ「Biome (バイオーム)」を活用した参加型企画を実施します。

市民の皆様がスマートフォンを使って、身近な自然やいきものを観察・記録しながら、横浜の豊かな生物多様性を体感していただく企画です。

集まったいきものの情報は、エクスポの会場内イベントで展示する予定です。



- 実施期間： 2026 年 10 月 5 日(月)～2027 年 3 月 31 日(水)
- 対象エリア：横浜市内全域

次頁あり

＜会場への交通アクセス関連＞

■横浜都心臨海部と会場を結ぶ直行バスの運行ルート

横浜グリーンエクスポ会場までの公共交通機関によるアクセスは、会場近傍４駅からのシャトルバスのほか、横浜駅、新横浜駅、羽田空港からの直行バスが運行予定です。

さらに、会場と横浜都心臨海部をダイレクトに結ぶバスも運行を予定しています。こちらは、馬車道、野毛、みなとみらい 21 地区への玄関口である桜木町駅、みなとみらいの主要ホテルや横浜ハンマーヘッド、横浜赤レンガ倉庫、関内・関外エリアの BASEGATE 横浜、さらには元町・中華街エリアのローズホテル横浜、山下公園通りのホテルニューグランドといった臨海部の主要な観光拠点を周遊するルートを予定しています。



横浜都心臨海部からの直行バスの運行予定ルート

■TDM パートナーへのインセンティブ追加（ステッカー配布）

会期中の円滑な交通の実現に向けて、交通需要マネジメント（TDM）の取組にご協力いただける企業・団体の皆さまに、「TDM パートナー」として登録のお願いをしています。ご登録いただいた皆さまには、インセンティブをご用意しており、このたび、新たな特典としてトゥンクトゥンクがデザインされた専用ステッカーを追加しました。



配布ステッカー（イメージ）

裏面あり

＜9月 29 日(火)開催 「横浜グリーンエクスポ開催半年前メディア発表会」＞



(左から)トゥンクトゥンク、渡邊(わたなべ) 忠則(ただのり) 横浜市会議長、平原(ひらはら) 敏英(としひで) 横浜市副市長、原田(はらだ) 一之(かずゆき) 横浜商工会議所副会頭、ミャクミャク

横浜市は、「横浜グリーンエクスポ開催半年前メディア発表会」を、９月 29 日（火）に横浜市中区の THE LIVE で開催し、横浜市出展や横浜市主催イベントに関する最新情報を発表しました。



(左から)トゥンクトゥンク、ミャクミャク

続いて、横浜グリーンエクスポ公式マスコットキャラクターのトゥンクトゥンクに加え、大阪・関西万博公式キャラクターのミャクミャクがスペシャルゲストとして登場。ミャクミャクは、横浜の「Ｙ」と応援を意味する「Ｙｅｌｌ」の頭文字をかけた「Ｙ」ポーズを披露し、横浜グリーンエクスポに向けてエールを送りました。トゥンクトゥンクも一緒に「Ｙ」ポーズを決め、会場を盛り上げました。

また、大阪市長の横山(よこやま) 英幸(ひでゆき)氏からビデオメッセージが寄せられました。大阪・関西万博の経験を踏まえ、早めのチケット購入と早期来場を呼びかけるとともに、「万博のバトンを横浜の皆様へつないでまいりたい」とエールを送りました。さらに、大阪市が大阪府、堺市とともに会場内へブースを出展予定であることにも触れ、「全力で共に歩んでまいります」と、横浜グリーンエクスポの成功に向けた力強いメッセージを寄せました。

加えて、横浜グリーンエクスポをともに盛り上げる横浜市 18 区のマスコットキャラクターを紹介するとともに、トゥンクトゥンクとのコラボレーションポスターを会場内で初公開しました。

<トゥンクトゥンク×横浜市 18 区キャラクターとのコラボレーションポスター　一例>



瀬谷区



旭区



緑区

次頁あり

お問合せ先

（開催半年前メディア発表会・コラボレーションポスターについて）
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課担当課長　古市　　TEL　045-671-4866
（横浜市出展　発信拠点について）
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課担当課長　幡野　　TEL　045-671-3787
（横浜市出展　市民活動フィールドについて）
みどり環境局戦略企画課担当課長　岩ヶ谷　　TEL　045-671-4423
（YOKOHAMA GREEN CHALLENGE WEEK、ヨコハマ 18 コレクションについて）
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課担当課長　西城　　TEL　045-671-3788
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課担当課長　平原　　TEL　045-671-2033
（EXPO 部について）
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課担当課長　長谷部　　TEL　045-671-2102
（横浜ネイチャークエストについて）
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課担当課長　安藤　　TEL　045-671-3786
（直行バスについて）
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課担当課長　山崎　　TEL　045-671-4832
（TDM について）
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課担当課長　原田　　TEL　045-671-3789

明日をひらく都市
OPEN×PIONEER
YOKOHAMA

横 浜 市 記 者 発 表 資 料

令和 8 年 10 月 1 日
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局
GREEN×EXPO 推進部

横浜グリーンエクスポで横浜 18 区の魅力を発信
「食」と「エンターテインメント」で区民が主役となるイベント
「ヨコハマ 18（イチハチ） コレクション」開催決定
本日からステージパフォーマンス出演者を募集します

2027 年に開催される「横浜グリーンエクスポ（GREEN×EXPO 2027）」の会期中、市内 18 区の特色や魅力を、区民の皆さまが発信する横浜市主催イベント「ヨコハマ 18（イチハチ） コレクション」を開催します。また、本日 10 月 1 日（木）から、ステージパフォーマンスへの出演者の募集を開始します。

本イベントでは、地域で活躍する区民の皆さまが主役となり、「食」と「エンターテインメント」を通じて、横浜市 18 区それぞれの個性や地域の特色を紹介するとともに、地域で育まれてきた文化や伝統、特産品、地域活動など、多彩な魅力を発信します。

このたび募集するステージパフォーマンスでは、音楽、ダンス、演劇など幅広いジャンルを募集します。なお、区の特産品や地産地消の飲食物などを扱うブース出展者についても、11 月 2 日（月）から募集開始予定です。
多くの皆さまのご応募をお待ちしています。

裏面あり

■募集概要

イベントの開催にあたり、ステージパフォーマンスを通じて横浜の魅力を発信していただける個人・団体の皆さまを募集します。詳細は特設 Web サイトに掲載する募集要項をご確認ください。

１．募集ジャンル

音楽、ダンス、パフォーマンス、演劇　等

※ブース出展については 11 月２日（月）に改めて募集を予定しています。

２．応募資格

- 個人：市内に在住・在勤・在学していること
- 団体：市内に在住・在勤・在学している人が、出演者に含まれていること

３．募集期間

2026 年 10 月１日（木）から 12 月 28 日（月）まで

４．応募方法

- 電子メール・郵送・応募フォームにて受付。
- 詳細な応募手順や申請書類のダウンロードは、特設 Web サイトをご確認ください。

  ※電子メール及び郵送は 10 月１日（木）から受付を開始します。応募フォームについては 11 月上旬に受付開始予定です。

５．問合せ先

ヨコハマ 18 コレクション運営事務局

電話：050-8888-9556（平日 10:00 から 18:00）

メールアドレス：yokohama18@dna-ex.co.jp

■「ヨコハマ 18 コレクション」概要

- **開催時期**：2027 年７月 21 日（水）から７月 29 日（木）まで
- **会場**　　：横浜グリーンエクスポ 会場内（大催事広場（仮称））
- **主催**　　：横浜市
- **主な内容**：
  - **ステージパフォーマンス：**
    ダンスや音楽、伝統芸能などのパフォーマンスを通じて、幅広い世代が楽しめるにぎわいの場を創出し、地域の魅力を発信。
  - **ブース出展**：特産品の提供・PR、食や地産地消等の魅力を発信。

- **特設 Web サイト**：
  https://yokohamagreenexpo-saiji.city.yokohama.lg.jp/18collection/guidelines/

お問合せ先
GREEN×EXPO 推進課担当課長　平原　　TEL：045-671-2033





西区の魅力再発見
散策ルート
温故知新のみち
～案内サインをめぐって楽しくまち歩き～

イベント情報や散策ルートはこちら



西区のマスコットキャラクター
「にしまろちゃん」

温故知新のみち
まち歩きイベント開催



開催期間 令和8年11月16日(月)～令和9年1月17日(日)

歴史ある西区の魅力を再発見できる散策ルート「温故知新のみち」。
よこはまウォーキングポイントアプリを使って、まち歩きを楽しんでみよう！

参加方法

※詳しいイベント情報は、二次元コード（右上掲載）からご確認ください。

❶アプリを起動



よこはまウォーキングポイントアプリをダウンロードして起動

❷コースを選んで歩こう



温故知新のみちの3ルートから好きなルートを選択

❸スタンプを集めよう



対象の総合案内サイン・スポット解説サインを巡り、２カ所以上のスタンプを獲得

❹景品をゲット！



西区役所（４階49番窓口・1階 にしとも広場）でスタンプを提示

※受取可能日時は、二次元コード（右上掲載）からご確認ください

先着300名様



にしまろちゃん反射板キーホルダーをプレゼント！

※画像はイメージです

よこはまウォーキングポイントアプリとは

歩数に応じてポイントが貯まる健康づくりアプリです。歩数やアプリの使用によって貯まるポイントで、商品券などが当たる抽選に応募できます。

よこはま ウォーキングポイント

アプリの登録方法はこちら▶

写真投稿企画も同時開催

テーマ

発見！とっておきの温故知新のみちスポット

テーマに沿った写真をアプリ内で投稿すると、抽選でまち歩きに便利なグッズが当たるチャンス！



《お問い合わせ》 西区役所区政推進課まちづくり調整担当
TEL 045-320-8329 FAX 045-314-8894



横浜ビー・コルセアーズ
西区応援DAY

YOKOHAMA CITY DAY

西区応援DAY優待観戦チケット

対象席種（3Fメイン コーナー）の観戦チケットを一般価格から1,500円OFFで購入いただけます。

リそなグループ B.LEAGUE 2026-27 SEASON

横浜ビー・コルセアーズ vs 島根スサノオマジック

試合日時 12.4 FRI 19:05 TIPOFF

B.LEAGUE PREMIER

試合会場 横浜BUNTAI

横浜市中区不老町2丁目7番1

交通アクセス

- ●JR京浜東北/根岸線「関内」駅下車 徒歩約6分
- ●横浜市営地下鉄「伊勢佐木長者町」駅下車 徒歩約4分
- ●みなとみらい線「日本大通り」駅下車 徒歩約13分

販売概要

12月4日（金）横浜ビー・コルセアーズ
西区応援DAY優待観戦チケット

対　　象	西区に在住・在勤・在学の方
申込期間	10月9日(金)12:30～ 対象席種がなくなり次第終了
対象席種	3Fメイン コーナー（Jブロック）
優待価格	大人：1,500円　小学生500円 ※通常大人：3,000円／通常小学生：2,000円



横浜ビー・コルセアーズ
マスコット「ルビー」

優待観戦チケット購入方法

本チラシ記載の二次元コードを読み取り、専用フォームに必要事項を入力し、送信してください。ご入力いただいたメールアドレス宛に、優待観戦チケットの購入URLをお送りします。

詳細・お申し込みはコチラから



【優待観戦チケットについて】●申込者ご本人が区内在学・在勤・在学であれば、ご家族・ご友人などの同伴者は条件を問いません。●優待価格は２枚以上（４枚まで）購入時のみ適用されます。●チケット料金とは別に B.LEAGUE チケットの「システム利用料」が発生します。●チケット購入の際には B.LEAGUE 会員への登録（無料）が必要です。※未就学児は保護者の膝上で観戦される場合に限り無料です。●お問い合わせは横浜ビー・コルセアーズ公式 Web サイトのお問い合わせフォームよりお願いします。

2026-27 SEASON ROSTER

YOKOHAMA B-CORSAIRS

①生年月日②身長／体重③出身地④出身校

KAMERON MCGUSTY
キャメロン・マクガスティ
①1997年9月9日
②197cm/88kg
③アメリカ合衆国
④マイアミ大学
0 SG



ISAIAH LIVERS
アイザイア・リバース
①1998年7月28日
②198cm/105kg
③アメリカ合衆国
④ミシガン大学
2 SF/PF



GAKUTO ARAI
新井 楽人
①2004年3月11日
②190cm/90kg
③愛知県海部郡
④日本大学
6 SG/SF



KANTA MAENO
前野 幹太
①2002年8月12日
②194cm/90kg
③北海道千歳市
④東海大学
10 SF/PF



TAKUMA SATO
佐藤 卓磨
①1995年5月10日
②197cm/93kg
③北海道札幌市
④東海大学
14 SG/SF



KENTA MORII
森井 健太
①1995年9月22日
②178cm/77kg
③石川県野々市市
④早稲田大学
18 CAPTAIN PG



MAIK KOTSAR
マイク・コッツァー
①1996年12月22日
②209cm/122kg
③エストニア
④サウスカロライナ大学
21 VICE CAPTAIN PF/C



KAI KING
キング 開
①2000年2月29日
②185cm/90kg
③横浜市磯子区
④専修大学
23 PG/SG



KENTA WHITAKER
ウィタカ ケンタ
①1997年12月15日
②202cm/106kg
③東京都府中市
④青山学院大学
27 PF/C



KOYA SUDO
須藤 昂矢
①1997年5月15日
②186cm/93kg
③横浜市港南区
④明治大学
30 SG



NARITO NAMIZATO
並里 成
①1989年8月7日
②172cm/72kg
③沖縄県沖縄市
④福岡第一高校
33 PG



KYLE RICHARDSON
カイル・リチャードソン
①1991年4月17日
②198cm/101kg
③アメリカ合衆国
④ポートランド州立大学
34 PF/C



【横浜ビー・コルセアーズについて】横浜ビー・コルセアーズは、海賊（CORSAIRS）の名を冠したプロバスケットボールクラブ。神奈川県横浜市をホームタウンとし、国内男子プロバスケットボールリーグB.LEAGUEのトップカテゴリー「B.LEAGUE　PREMIER」に所属しています。ホームアリーナは横浜BUNTAI（横浜市中区）。「ヨコハマをバスケの街に」をクラブビジョンに、**「RAISE THE SAIL ～共に帆を上げ この街の象徴に～」**をクラブスローガンに掲げ、横浜への愛着と誇りを高め、この街に活力を生み出す存在となるべく活動を続けています。チームは**「TO THE BONE ～骨の髄まで戦い、勝利を奪う～」**というBONEメンタリティのもと、プレーオフ、そしてその先にある頂点を目指し戦っています。

B.LEAGUE PREMIER　YOKOHAMA B-CORSAIRS　YOKOHAMA CITY DAY

「YOKOHAMA CITY DAY」はホームタウンである横浜市と連携し、各区の魅力を発信するホームゲームイベントです。今シーズンは横浜市全18区の「YOKOHAMA CITY DAY」を開催します。







ハマの海賊誕生の地、横浜・関内から出港。

2026年9月、B.LEAGUEの新たなトップカテゴリー「B.PREMIER」がいよいよ開幕。横浜市を本拠地とするプロバスケットボールチーム「横浜ビー・コルセアーズ」は、この最高峰の舞台で新シーズンを迎えます。ホームアリーナは横浜・関内の「横浜BUNTAI」。新たな航海を海賊と共に。熱狂のアリーナ体験を横浜BUTNAIで。

LINE

横浜ビー・コルセアーズ LINE公式アカウント
友だち登録して
試合・チケット・イベントなど
クラブ最新情報をゲット！

b-corsairs.com
ビーコル

BCOR YOUTUBE
見応えたっぷりなコンテンツを配信中
公式YouTubeチャンネルをチェック

株式会社横浜ビーコルセアーズ　〒231-0037 横浜市中区富士見町3-2 清康社ビル6F

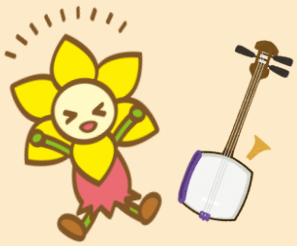
令和８年度　西区権利擁護講演会

笑って考える これからの終活

～小噺のあとは私のお話～

こばなし

入場無料
先着５００名





人生100年時代、今から将来の準備を始めることは大切です。
最後まで自分らしい暮らしを送るため、大切な家族の未来のために、これからの備えを一緒に学びませんか。落語と専門家による講演で楽しくわかりやすくお話をしていただきます。

第１部 落語

落語家
柳家 小志ん 師匠
（社会福祉士･介護支援専門員）



福祉現場での経験を生かし、制度を身近に感じていただけるよう、落語家ならではの語り口でお伝えしています。

第２部 講演



上大岡オフィスタワーに事務所を構え、司法書士として約20年活動。相続・信託の専門家として県内トップクラスの後見実績を持っています。

司法書士
小関 貴之 氏

日時　2026年 12月 1日(火)
14時00分～16時00分(開場13時30分)
会場　西公会堂　講堂(西区岡野町1-6-41)
対象　西区内在住･在勤の方

※定員に達し次第受付を終了します。
※申込終了時は西区のホームページに掲載しますので事前にご確認ください。
※手話通訳が必要な方は11月25日までにご連絡ください。

申込期間　10月14日（水）～11月25日（水）
申込方法　①電子申請
②電話　戸部本町地域ケアプラザ
☎045－321-3200
※お問い合わせもこちらまで

主催：西区高齢・障害支援課　西区地域包括支援センター社会福祉士会　西区社会福祉協議会

神奈川県立図書館 Kanagawa Prefectural Library

予約制・無料

秋の生涯学習相談会

～学び深める秋～

学び直し、資格取得、大学での学び、ボランティア等、
生涯学習に関する様々なテーマについて、
より広く・より深く、ご相談に応じます



学びを深める相談をしてみませんか。

生涯学習相談デスクでは、年２回、生涯学習相談会を開催しています。通常は生涯学習相談デスクで相談をお受けしていますが、相談会の際は別室をご用意し、お一人につき１時間の枠を設定いたしますので、じっくりご相談いただけます。

日時 令和8年11月21日(土)・22日(日)

① 10：00～11：00
② 11：00～12：00
③ 13：00～14：00
④ 14：00～15：00
⑤ 15：00～16：00

（相談時間は原則1時間です。12：00～13：00を除きます）

開催場所 神奈川県立図書館 本館４階 ディスカッションルーム

申込期間 令和8年10月23日(金) ～ 11月5日(木) ※事前予約制

申込方法 神奈川県電子申請システム

＜申込みはこちら＞

右記の二次元コードより、
・希望相談日時（第３希望まで）
・相談内容（なるべく具体的に） をあらかじめお知らせください。
※相談内容の記入は、事前に資料を用意するためのものです。

お問合せ 神奈川県立図書館 生涯学習相談デスク
045-263-5900（音声案内で4を選択）

生涯学習相談会

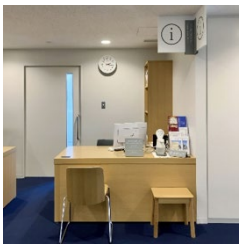
過去にはこのようなご相談がありました。

・定年後のライフプランについてアドバイスが欲しい。
・今後のキャリアアップのために役立つ資格を取得したい。
・自分のスキルを活かせるようなボランティアの探し方を教えてほしい。
・働きながら学士の学位を取得するにはどのような方法があるか。

生涯学習相談デスク

県立図書館本館4階にある「生涯学習相談デスク」では、学び直しや資格取得、趣味の講座やボランティアまで「何かを学びたい」方のニーズを伺いながらご相談を常時お受けしています。

また、生涯学習に関する情報提供拠点として、大学案内から観光ガイドブックまで幅広い分野の資料を配架しています。

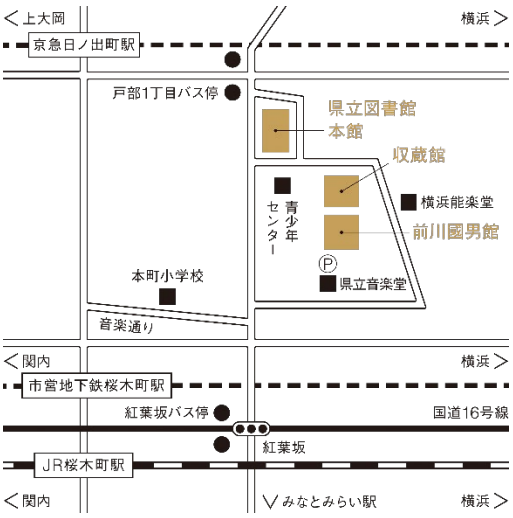


学びstyleかながわ

生涯学習情報サイト「学びstyleかながわ」では、生涯学習相談デスクに関するご紹介や生涯学習コラムを掲載しております。また、サイト内には生涯学習相談フォームを設けております。

アクセス

JR・市営地下鉄桜木町駅より徒歩10分／京浜急行線日ノ出町駅より徒歩13分／みなとみらい線 みなとみらい駅より徒歩20分



図書館開館時間

火～金　9時～19時(毎月第2木曜日は休館)
土・日・祝　9時～17時(祝・休日の月曜日を含む)
※詳しくは図書館HPをご覧ください。

神奈川県立図書館
TEL.045-263-5900(代表) FAX.045-241-0985
〒220-8585 神奈川県横浜市西区紅葉ケ丘9-2
図書館ホームページ
https://www.klnet.pref.kanagawa.jp/yokohama/
県立図書館HP　kanagawa_lib　kanagawa_lib



昭和100年
1926——2026

昭和100年記念

戦後横浜の光と影

2026.10.10［土］－12.27［日］

五十嵐英壽
常盤とよ子
奥村泰宏写真展



開館時間｜9時30分～17時（入館は16時30分まで）
休 館 日｜毎週月曜日（月曜が祝休日の場合は開館し、翌平日が休館）
観 覧 料｜一般800円、横浜市内在住65歳以上・小中学生400円
この料金で当館常設展および横浜ユーラシア文化館もご覧いただけます。
毎週土曜日、小中学生と高校生は無料です。
※無料観覧日　11月14日（土）、15日（日）

主催｜（公財）横浜市ふるさと歴史財団（横浜都市発展記念館）　共催｜横浜市教育
後援｜朝日新聞横浜総局、神奈川新聞社、産経新聞社横浜総局、東京新聞横浜支
毎日新聞社横浜支局、読売新聞横浜支局、ｔｖｋ、FMヨコハマ

アクセス：
みなとみらい線日本大通り駅（3番出口）0分
横浜市営地下鉄ブルーライン関内駅（1番出口）から徒歩約10分
JR京浜東北・根岸線関内駅（南口）から徒歩約10分
横浜市営バス「日本大通り駅県庁前」から徒歩1分

横浜都市発展記念
Museum of Yokohama Urban Histo

〒231-0021　横浜市中区日本大通12　Tel.045-663-2424